

# KGA GOLFER'S NEWS

2022 秋号 No.138

一般社団法人 関東ゴルフ連盟



関東倶楽部対抗  
初優勝  
姉ヶ崎  
カントリー倶楽部

## 関東倶楽部対抗特集号



関東女子倶楽部対抗  
初優勝  
姉ヶ崎  
カントリー倶楽部

別冊  
付録  
保存版

2022年 関東倶楽部対抗  
2022年 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績

## 佐藤敏明 新理事長のご紹介



左から橋本泰子副理事長、佐藤敏明理事長、小宮山義孝副理事長

2022年7月に開催された2022年度第1回理事会において、前副理事長の佐藤敏明の理事長就任が承認されました。

佐藤理事長は、2011年から2019年まで、ジュニア育成委員会委員長を務め、この間には「TEAM KGA ジュニア」の発足に携わるなど、ジュニアゴルフの普及・育成活動に取り組んでまいりました。

佐藤敏明理事長、小宮山義孝副理事長、橋本泰子副理事長をトップとする新体制においても、理事、委員、職員一丸となり、一般社団法人関東ゴルフ連盟(KGA)としてゴルフ界の発展のために全力を尽くしてまいります。

## 関東倶楽部対抗特集号

### 1 佐藤新理事長のご紹介

#### 決勝競技

2 関東倶楽部対抗(姉ヶ崎カントリー倶楽部 東・西コース)

#### 予選競技

- 6 新潟第1会場(糸魚川カントリークラブ)
- 8 新潟第2会場(グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部)
- 10 長野会場(サニーカントリークラブ)
- 12 山梨会場(河口湖カントリークラブ 西・東・南コース)
- 14 群馬第1会場(赤城国際カントリークラブ 南・西コース)
- 16 群馬第2会場(白水ゴルフ倶楽部)
- 18 栃木第1会場(塩原カントリークラブ 南・北コース)
- 20 栃木第2会場(風月カントリー倶楽部 北・中コース)
- 22 栃木第3会場(鶴カントリー倶楽部 中・西コース)
- 24 茨城第1会場(ノースショアカントリークラブ)
- 26 茨城第2会場(美浦ゴルフ倶楽部)
- 28 茨城第3会場(龍ヶ崎カントリー倶楽部)
- 30 埼玉第1会場(東京ゴルフ倶楽部)
- 32 埼玉第2会場(高坂カントリークラブ 米山コース)
- 34 千葉第1会場(鶴舞カントリー倶楽部 西コース)
- 36 千葉第2会場(総武カントリークラブ 総武 東・中コース)
- 38 千葉第3会場(富里ゴルフ倶楽部)
- 40 千葉第4会場(千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース)
- 42 東京会場(府中カントリークラブ)
- 44 神奈川第1会場(清川カントリークラブ)
- 46 神奈川第2会場(平塚富士見カントリークラブ 大磯コース)
- 48 静岡会場(朝霧ジャンボリーゴルフクラブ 甲斐・駿河・富士コース)

#### 決勝競技

54 関東女子倶楽部対抗(青梅ゴルフ倶楽部 東・西コース)

#### 予選競技

- 58 新潟会場(柏崎カントリークラブ 米山・佐渡コース)
- 60 長野会場(中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部)
- 62 山梨会場(桜ヒルスゴルフクラブ)
- 64 群馬会場(サンコー72カントリークラブ 東コース)
- 66 栃木会場(宇都宮カントリークラブ 北・中コース)
- 68 茨城第1会場(セゴビアゴルフクラブ イン チョダ)
- 70 茨城第2会場(玉造ゴルフ倶楽部 捻木コース)
- 72 埼玉会場(霞ヶ関カントリー倶楽部 東コース)
- 74 千葉第1会場(成田ゴルフ倶楽部)
- 76 千葉第2会場(木更津ゴルフクラブ)
- 78 東京会場(GMG八王子ゴルフ場 南・東コース)
- 80 神奈川会場(葉山国際カントリー倶楽部 ダイヤモンドコース)
- 82 静岡会場(富士宮ゴルフクラブ)

50 祝!! 姉ヶ崎CC「アベック」初優勝!

84 コラム

85 INFORMATION

#### 保存版 別冊付録

2022年関東倶楽部対抗/関東女子倶楽部対抗  
 出場全倶楽部競技成績

編集/一般社団法人関東ゴルフ連盟広報委員会  
 統括/吉田裕明(KGA広報委員長)  
 大竹 茂(KGA広報副委員長)  
 塚越克一(KGA広報副委員長)  
 久保田昌幸(KGA広報委員)  
 黒川秀昭(KGA広報委員)  
 近藤勇樹(KGA広報委員)  
 鈴木一也(KGA広報委員)  
 高岡和弘(KGA広報委員)  
 富澤 仁(KGA広報委員)  
 本條 強(KGA広報委員)  
 北川外志廣(KGA広報委員)  
 鈴木暹理(KGA広報委員)  
 福島 靖(KGA広報委員)

裏表紙/決勝競技開催会場  
 姉ヶ崎カントリー倶楽部  
 青梅ゴルフ倶楽部

# 姉ヶ崎カントリー倶楽部 東・西コース

4打差に5倶楽部がひしめく  
「群雄割拠」の時代に突入か？

## 決勝競技

倶楽部の総合力を競う関東倶楽部対抗。新型コロナウイルスの影響で、昨年に続いて応援が制限され、恒例の各倶楽部による応援テントの設置も見送られた。加えて、小雨が降ったりやんだりの日候。だが、会場の姉ヶ崎カントリー倶楽部は、最後まで熱い熱気に包まれた。

競技は、全選手が9ホールを終えた時点で、トップに立った霞ヶ関カントリー倶楽部から5打差の中に、9チームがひしめく大混戦となった。

各倶楽部は、55歳以上の選手3人のAクラスと、年齢制限のない3人によるBクラスで構成され、各クラス3人中上位2人、計4選手の合計スコアで争われる。つまり単純計算で、4選手が1人1・5打縮めれば、5打差でもひっくり返ってしまうことになる。

選手について歩く応援は禁止されているため、途中経過はほとんどわからない。「どうも嵐山（カントリークラブ）がいいようだ」

「いや、水戸グリーン（カントリークラブ）の方コースが上かもしれない」

大の大人、それも立派なゴルフアタチが必死に状況を探り合う姿は、倶楽部の名誉がかかっているからこそ、だろう。

結果は、地元の姉ヶ崎CCが、水戸グリーンCCに、わずか1打差で1位に。開催コースが優勝したのは、2007年の東千葉カントリークラブ以来の快挙だった。

実は、朝、驚かされたことがあった。練習グリーン脇を歩いていると、選手から声をかけられた。

「広報さん、（記念）写真を撮ってもらえませんか？」

見ると、姉ヶ崎CCの代表3人が笑っている。スタート前、しかも開催コースの選手ならではの緊張感があるはずだが、実にいい笑顔だった。大混戦を制したのは、もちろん実力があつたからだだが、「あの明るさが原動力になったのかも」とも感じた。

男子の倶楽部対抗はこれまで、昨年まで3連覇中だった東千葉CCと、袖ヶ浦カントリークラブの2強が君臨していた。姉ヶ崎CCの優勝は、千葉県勢によるタイトル死守ともなった。

一方、わずか1打及ばなかった水戸グリーンCCの木村利治選手（2014年日本シニアオープンローアマチュア）は、「有力な若手も加わり、打倒千葉で、みんな頑張ってきた。うちだけでなく、茨城県勢が勝つのが目標」と、来年に向けた意欲を語った。

3位となった嵐山CCの辻啓一選手も、「みんな仲が良く、最高にいいチームの状態」と、手応えを話した。

2・5位は、茨城県勢と埼玉県勢各2チームが食い込んだ。

7位にとどまった東千葉CCの巻き返しもあるだろうし、来年以降、「群雄割拠」の様相になることを予感させる大会でもあった。

（高岡和弘・広報委員）

# 関東倶楽部対抗

## 開催倶楽部の姉ヶ崎CCが笑顔でつかんだ初優勝！

優勝 姉ヶ崎カントリー倶楽部

### 関東倶楽部対抗 決勝競技

Aクラス(東コース):6516Y・P72 / Bクラス(西コース):6808Y・P72  
 2022年6月14日(火) ●参加倶楽部数:40 ●出場選手数:240名 ●競技方法:Aクラス3名、Bクラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合計スコア  
**最優秀選手賞**  
 Aクラス:水上 晃男 (鷹之台) 68ストローク  
 Bクラス:山本 明宏 (麻倉) 71ストローク  
**上位5倶楽部**  
 1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 294ストローク  
 2位 水戸グリーンカントリークラブ 山方コース / 295ストローク  
 3位 嵐山カントリークラブ / 297ストローク  
 4位 富士カントリー笠間倶楽部 / 298ストローク  
 5位 霞ヶ関カントリー倶楽部 / 298ストローク

### 最優秀選手賞



Aクラス:水上晃男選手 (鷹之台CC)

Bクラス:山本明宏選手 (麻倉GC)

2位 水戸グリーンカントリークラブ 山方コース

3位 嵐山カントリークラブ

4位 富士カントリー笠間倶楽部

5位 霞ヶ関カントリー倶楽部

# 100年に迫る歴史と伝統に 醸成される“緊張感”



張り詰めた緊張感のなか、ティーから放たれた打球の行方を凝視する応援メンバーたち。



アコーディア習志野CCの選手・応援メンバー。



鷹之台CCの選手・応援メンバー。



霞ヶ関CCの応援メンバー。東京GC、鷹之台CCとともに第1回関東倶楽部対抗の出場倶楽部。



東コース18番グリーンを取り囲む応援風景。

大勢の観戦者のなかには、車いすに乗って熱心に観戦する東京GCの河野博文理事長の姿も見られた。

倶楽部対抗はもともとKGAの倶楽部相互の交流を図る「祭典」だが、同時に各倶楽部の「誇り」を表出する機会でもある。それが会場を包む特別な緊張感の源泉なのだろう。今後とも変わらずそう在り続けたい。

「どの倶楽部さんも同じでしょうけど、予選を勝ち抜いて決勝でプレーする代表選手を誇りに思います。河野理事長が怪我にもかかわらず会場に足を伸ばされたのは、倶楽部対抗への敬意とともに、倶楽部の総意として代表選手に誇りの念を表したかったのでしょう」

「実際のスタートのティーオフを前にした選手は皆表情が硬く、言葉も少ない。関東倶楽部対抗はどうして「特別」なのだろう。今回、その答えのヒントになりそうなシーンが見られた。東京ゴルフ倶楽部の理事長、河野博文氏が小雨降る中、車いすに座ってじっと観戦・応援する姿だ。東京GCの決勝出場は12年ぶり（開催倶楽部のシード出場を除く）だが、それが理由？

河野理事長と一緒に応援した東京GC競技委員長の阿部哲理事がこのときの思いを語ってくれた。代表選手に誇りの念を「スタートホールでティーアップする手が震えた」と苦笑する選手は少なくない。競技慣れたベテラン選手でさえ、この試合は「特別」という。



ハウスオープン直後の玄関前。他の競技にはない緊張感が漂う。



総勢19名の競技委員が出席する朝の競技委員会（内藤正幸競技委員長＝写真右）も厳粛な雰囲気にも包まれる。

スタート前、硬い表情を見せるAクラス第1組の選手たち。倶楽部対抗のティーオフは、ベテラン選手でも手が震えるという。



代表選手のプレーに熱い視線を送る応援メンバーたち。

新潟第1会場  
予選競技



Aクラス:6184Y・P72 / Bクラス:6549Y・P72  
 2022年5月17日(火) ●参加倶楽部数:16 ●  
 通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス3名、B  
 クラス3名出場、6名の合計スコア  
**ベストスコア賞**  
 Aクラス:山宮 秀一(湯田上) 74  
 Bクラス:阿部 祐希(湯田上) 73  
**上位3倶楽部**  
 1位 糸魚川カントリークラブ / 477ストローク  
 2位 湯田上カントリークラブ / 479ストローク  
 3位 イーストヒルゴルフクラブ / 481ストローク



朝の練習パッティンググリーン風景。



ツツジが咲き誇る1番ティー手前の練習グリーン。



10番パー4のスタート風景。



18番グリーンの周りでは多くの倶楽部関係者が見守る。



決勝進出

1位

糸魚川カントリークラブ

今回は予選会場がホームコースの糸魚川カントリークラブということで、チーム一丸となって優勝を狙っていました。実は10年前の2012年にも糸魚川CCが会場となって優勝しています。

糸魚川CCはデザイン的には、コンパクトで適度なアンジュレーションがある丘陵コースなのですが、ホール間をセパレートしている松林に入ると、ボギーを覚悟しなくてはならないレイアウトで、6549ヤードと短めなので、飛距離よりも正確性が求められます。また、グリーンは微妙な目があり、平らなところで思わぬ曲がりがあります。そうした点で、ホームのアドバンテージはあったと思います。

昨秋に選手候補を4名ずつ8名に絞り、冬季クローズ明けの3月末から9回の練習会をして選考しましたが、最近では若手の急成長もあって、今回の選手でも若手3人が安定して好スコアをマークしてくれたことが勝因だと感じています。今回で3回目の決勝進出ですが、徐々に順位が上がっているので、4年前の前回出場の実績を上回ることが目標です。(杉本講平キャプテン・談)



アウトの最終ホール=9番パー3で代表選手を応援する倶楽部関係者。



白馬岳のパノラマが広がる11番ホール。



打ち上げの最難関ホール、12番パー4。

新潟  
第1会場予選

糸魚川カントリークラブ  
地元開催のプレッシャーに負けず、  
開催倶楽部が1位通過を果たす

専務取締役支配人 室川カ氏

当倶楽部での開催は10年ぶり3回目。昨年に引き続きコロナ禍における開催となり、様々な制限の中、運営方法を何度も確認しスムーズに進行出来るよう努めました。

当倶楽部は新潟県の南端、糸魚川市に位置する比較的フラットな丘陵コース。11番ホールからは日本海(能登半島)や、白馬岳等の日本百名山が望める大パノラマが展開。

地元、金井清一プロ監修により、最長6549ヤードと距離は短いもののコース、グリーンの微妙なアンジュレ

ションがゴルフ技量にあわせて楽しませてくれるコースです。

今年の春は気温があがらず雪解けが遅く大会までのコース整備は急ピッチ。大会当日は晴れ気温16度、ほぼ無風、グリーンは10・8フィート、コンパクトションや硬めのセッティング。

当倶楽部の選手も地元開催のプレッシャーに負けず1位通過を決め、歴史の1ページを飾って頂きました。

本競技を通じて、KGA競技委員、参加倶楽部選手、関係者の皆様のご協力により、無事に大会終了する事が出来ましたこと心より御礼申し上げます。

新潟第2会場  
予選競技

Aクラス:6469Y・P72/Bクラス:6800Y・P72  
2022年5月19日(木) ●参加倶楽部数:15 ●  
通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、6名の合計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:田村 敏明(小千谷) 74  
Bクラス:武田 心一(長岡) 74  
上位3倶楽部  
1位 グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部/  
486ストローク  
2位 越後ゴルフ倶楽部/487ストローク  
3位 小千谷カントリークラブ/487ストローク



決勝進出  
1位

グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部

今まで12回出ていて2位が1度だけでしたし、70台が1人だけだったので、正直ダメかなあと感じていました。でも、風が吹いたこともあって、周りもスコアを伸ばせず1打差でなんとか1位通過できました。今回はホームコースが会場でしたから、地の利は活かせたのかなと思います。

山の中腹にありアップダウンもあるコースですが、何と言っても、大きなポットチップグリーンが特徴で、予選会の際は11フィート、コンパクション12というプロトーナメント並みの難易度のセッティングでした。通常営業は9フィートですから、4月初めの冬季クローズ明けから、たくさんのチームが練習にいらしていましたが、予選会ではかなり手を焼いたのだろうと想像できます。

研修会に月例、倶楽部競技の15回くらいの中からベスト5のスコア合計で選手選考をしていますが、若手がいなくて、年齢的には全員がAクラスのチームです。決勝大会は強豪選手とのラウンドを楽しみに、頑張りたいです。(石黒展行キャプテン・談)



グリーンヒル長岡GCの理事長(左端)、競技委員長(右から2人目)も熱い応援。



眼下に長岡の市街地が一望できる9番グリーン。

新潟  
第2会場予選

グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部

倶楽部対抗独特の盛り上がりを感じることができた



9番パー-5をハウス側から展望。



倶楽部対抗のスタートはベテランでも緊張する。



朝のチェックイン風景。



9番グリーンの手前からハウス方向を望む。



天候に恵まれての予選競技となった。



明るい日差しの中、朝食をとる選手たち。

支配人 中村健一氏  
当倶楽部において倶楽部対抗予選の初開催が決まり、選手の皆さんに気持ち良く、悔いの無いプレーをして頂けるよう、スタッフ一同準備を進めてまいりました。  
アンジュレーションの強い高速グリーンに苦労された選手も多かったよ

うですが、眼下に広がる長岡市街に向かつて伸び伸びとプレーされており、倶楽部対抗独特の盛り上がりを感じ、事ができる競技会になったと思います。  
開催にあたり競技委員の皆様、各倶楽部の関係者の皆様よりご指導、ご協力いただき無事終了することができましたこと、心より感謝申し上げます。

サニーカントリークラブ

開場50年の節目の年  
白熱した倶楽部対抗を無事開催

長野野会場  
予選競技



Aクラス:6519Y・P72 / Bクラス:6876Y・P72  
2022年5月20日(金) ●参加倶楽部数: 24 ●  
通過倶楽部数: 2 ●競技方法: Aクラス3名、B  
クラス2名出場、Aクラス上位2名、Bクラス2名  
の合計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス: 大井 幸雄(千曲高原) 72  
Bクラス: 樋口 和真(サニー) 71  
上位3倶楽部  
1位 サニーカントリークラブ / 302ストローク  
2位 穂高カントリークラブ / 306ストローク  
3位 塩竈カントリークラブ / 306ストローク



距離300ヤードのドライビングレンジ。



10番ティー越しにクラブハウス方向を撮影。



マスター室前から18番グリーン方向を眺望。



仲間の応援に多くの選手・関係者が集まっていた。



フェアウェイがストレートに伸びる10番パー5。当日はBクラスで495ヤードの設定だった。



レストラン側からテラス越しにコースを望む。



クラブハウス玄関前の車寄せ。



決勝進出  
1位 サニーカントリークラブ

現在のチームはBクラスに実力ある選手が揃いましたし、地元開催ということもあって、優勝を狙っての予選会でした。また、4年前に霞ヶ関CCで行われた決勝大会経験者がAクラスに4人いたのも大きいと思います。研修会の成績で選手は選考しますが、冬季クローズの関係で秋に決定し、冬の間は各自が練習場や隣の群馬県のゴルフ場に行ってラウンドすることになります。今冬は県外研修会として、選手を中心とした遠征を実施したようです。

極端なアップダウンはなく、思い切りクラブを振れるコースなので、好スコア続出かとも思いましたが、やはり問題はグリーンだったようです。比較的なだらかな傾斜ですが、微妙な目があり、他チームの選手たちは読み過ぎて失敗していたように見受けました。その点では、うちのチームにはアドバンテージがあったかもしれませんが。決勝大会はベスト5入りが目標なので、頑張してほしいです。(渡邊利行総支配人・談)



決勝進出  
2位 穂高カントリークラブ

倶楽部事務局 河野将人氏  
はじめにご協力くださいました連盟委員、出場各倶楽部に厚く御礼申し上げます。  
ご来場いただく関係者皆様にご満足いただける競技となるように準備を進めておりましたが、無事開催することができ安堵致しております。  
当コースが開場50年という事で節目の年での開催となりました。そんな本年初めは非常に雪が多く、オープンも度々先延ばしになるなどコースメンテナンスにも影響が懸念されておりましたが、まずまずのコンディションに整えることができました。  
当日は雨が降りそうな曇り空でしたが、選手たちの白熱した戦いのおかげか一日雨が降ることなく終えることができました。重ねてになりますが、皆様のご支援ご協力のおかげで今大会を無事開催できました事、心より感謝申し上げます。

予選競技  
山梨会場

Aクラス：西→東コース6493Y・P72 / Bクラス：東→南コース6676Y・P72 ●2022年5月20日(金)  
●参加倶楽部数：20 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：Aクラス4名、Bクラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合計スコア

ベストスコア賞

Aクラス：山本 幹夫(シャトレゼヴィンテージ) 78  
Bクラス：小野 竜彦(オリムピック) 73

上位3倶楽部

1位 オリムピックカントリークラブ / 485ストローク  
2位 シャトレゼヴィンテージゴルフ倶楽部 / 486ストローク  
3位 都ゴルフ倶楽部 / 486ストローク



決勝進出  
1位

オリムピックカントリークラブ

3年前まで3年連続で予選会を通過しましたが、昨年は惜しいところで決勝進出を逃していました(一昨年は開催中止)。それだけに、今回は何としても予選会優勝を目指していました。選手はこれまで同様、研修会の年間12回のポイント合計と、2回の開催ゴルフ場での練習ラウンドのポイント(倍付け)によって選考しています。今年はポイントゲッターとなる若手も加わり、メンバーもガラッと変わった中での戦いでした。

ギリギリまで選手選考をしているので、特にチーム練習などはありませんが、研修会メンバーには常日頃から対外試合に積極的に出るようと話しています。

今回の予選会会場は河口湖カントリークラブで、難易度の高いコースですから各自78を目標にしてクリアできればいいのではないかと考えていましたが、皆頑張ってくれました。

決勝大会については、全員で試合を楽しみたいと思います。もちろん、上位進出は目標ではありますが、今までも7位が最高位なので楽しむことを第一に戦ってくださいと言っています。(榎本幸和キャプテン・談)



決勝進出  
2位

シャトレゼヴィンテージゴルフ倶楽部



富士山に向かって打ち放つ280ヤードのドライビングレンジ。



パー3ホール1つ分の広さを誇るアプローチ練習場。



都留CCの平林治子選手はクラブチャンピオンにもなった、KGAを代表する女子選手だ。



Aクラスのベストスコア賞を獲得した山本幹夫選手(シャトレゼヴィンテージGC)



落ち着いた雰囲気のレストラン。



潇洒なデザインのクラブハウス。

山梨  
会場予選

河口湖カントリークラブ 西・東・南コース  
無事に競技を終了することができ  
選手・関係者の皆様に心より感謝

支配人 渡邊博文氏  
1977年に開場しました当倶楽部は、富士北麓の広大な国立公園内に位置し、敷地面積約180万平方メートル、その60%が樹林帯として自然のまま残っている西・東・南コースからなる27ホールのゴルフ場です。  
設計は「光と影の魔術師」と呼ばれたロバート・ボン・ヘギーとブルース・デプリンです。富士山の真正面に向かって打てる280ヤードのドライビングレンジとショートホール1ホール分の広さのアプローチ練習場も自慢の一つです。選手の皆様は早朝より熱心に最終調整に励まれました。昨年度の山梨県予選で当倶楽部は1位通過でしたが、今年度はホームコース開催で2連覇がかかること、残念ながら予選を通過することが出来ませんでした。今年も昨年に引き続きコロナ禍での開催となりましたが、感染対策を徹底しながら事故も無く無事に競技を終了する事が出来ました。ご尽力頂いた関東ゴルフ連盟の競技委員・関係者の方々並びに各倶楽部の選手・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



選手を熱く応援する河口湖CCのメンバーたち。



河口湖カントリークラブの選手・倶楽部メンバー。

**群馬第1会場  
予選競技**

Aクラス:6564Y・P72 / Bクラス:6991Y・P72  
2022年5月18日(水) ●参加倶楽部数:14 ●  
通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス4名、B  
クラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合  
計スコア

**ベストスコア賞**  
Aクラス:関 徹也(赤城国際) 72  
Bクラス:吉山 公章(伊香保GC) 78  
高瀬 清美(赤城国際) 78

**上位3倶楽部**  
1位 伊香保ゴルフ倶楽部 / 478ストローク  
2位 赤城国際カントリークラブ / 479ストローク  
3位 JGMベルエアゴルフクラブ /  
483ストローク



ドライビングレンジでは麓の街に向けて豪快に打ち放つ。



赤城山南面の中腹に拓かれた27ホールの赤城国際C.C.。今年開場58年目を迎えた。



幸い当日は、天候に恵まれた予選競技となった。



決勝進出  
1位  
伊香保ゴルフ倶楽部

群馬は、予選1位でないと決勝競技に進めません。しかも会場は、最大のライバル、赤城国際CCです。グリーンまで100ヤード以内とグリーン上が非常に難しいコースだけに、地の利がある相手に対し、厳しい戦いになっておりました。ですから、1打差で1位になったと知らされた時は、喜びより、まず驚きの気持ちがありました。

2019年に予選1位で決勝競技に進出しましたが、昨年は予選4位に終わりました。研修会が発足して、今年で12年。主力メンバーの高齢化が進んでいたこともあったと思います。

でも、若い会員も増え、今回の出場メンバーは、19年の時から半数が入れ替わっています。新しいメンバーを、ずっとチームを支えてくれているポイントゲッターの吉山公章、木村正伸両選手らがうまく引っ張り、今回、全員が安定したスコアで回ってくれました。お互いに切磋琢磨してきた研修会全体の力で勝ち取った1位だと思います。(丸山敏夫研修会会長・談)



満足と反省が入り混じるアテスト場。



スタート前、互いのボールを確認する選手たち。



(写真右)伊香保GCに1打差で惜敗した赤城国際CC。最終組で回った同CCの蠟川幸男選手(右)の最終ホール、勝敗を決した運命の一打。  
(写真左)赤城国際C.C.。前列左端が山本清二氏。右隣は、Aクラスのベストスコア賞の関徹也選手。後列右から3人目がBクラスのベストスコア賞の高瀬清美選手。



代表取締役社長総支配人 山本清二氏  
競技当日は、天候に恵まれたものの、コロナ対策を行ったうえでの開催となりました。

当倶楽部は、県内3番目、1964年(昭和39年)4月開場で原型は南と西でヒュー・アリソン設計の「川奈ホテル富士コース」に作風が似ています。

関東倶楽部対抗の開催に間に合うよう、日常のコース整備の他に枯松の伐採、切り株除去、下枝の剪定を重点的に行ってまいりました。

競技は熱戦の末、伊香保ゴルフ倶楽部が1位通過。当倶楽部は1打差の2位と健闘しました。ベストスコア賞は、いずれも当倶楽部のメンバーでAクラスはクラブチャンピオンの関徹也氏、Bクラスはスクラッチ杯チャンピオンの高瀬清美氏が獲得しました。賞賛に値する活躍であったと思います。

関東倶楽部対抗の開催にあたり、ご尽力いただいたKGA競技委員の皆様、大会を盛り上げていただいた各倶楽部の選手・関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

Aクラス:6478Y・P72 / Bクラス:6787Y・P72  
2022年5月20日(金) ●参加倶楽部数:14 ●  
通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス4名、B  
クラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合  
計スコア

**ベストスコア賞**  
Aクラス:猿渡 猛(白水) 73  
Bクラス:松島 明仁(太田双葉) 72  
二村 一宇(藤岡) 72

**上位3倶楽部**  
1位 太田双葉カントリークラブ / 455ストローク  
2位 草津カントリークラブ / 457ストローク  
3位 藤岡ゴルフクラブ / 458ストローク



18番グリーン奥から見るクラブハウス。



パッティング練習中の木村文徳選手(白水GC)。



南向きのレストラン。当日は天候にも恵まれた。



1番ティーから18番グリーン方向を眺める。



自然の大地のうねりがショットの難易度を増す。



眼下に平野部を眺望できる1番ティー。



好天のもと熱戦が展開された白水ゴルフ倶楽部。  
来年開場30周年を迎える。

白水ゴルフ倶楽部  
開催倶楽部もプレッシャーの中、  
トップと4打差の4位と健闘

決勝進出  
1位

太田双葉カントリークラブ

試合後に分析したら、前半終了時点で6位でした。トップの2チームとは10打差ありました。前半が不本意だっただけに奮起したのでしょうか。終わってみたら、逆に2打差をつけて1位になることができました。

5位に終わった昨年から、8人中6人が入れ替わっています。初出場も3人いました。相当なプレッシャーだったと思いますが、「成績にとらわれず、普段のゴルフをする」という研修会での教えを貰ってくれました。うちはこれまで、強いAクラスの貯金で戦っていました。今回、Bクラスでベストスコアを出した松島明仁選手を筆頭に、若手がレベルアップしたことを実感しています。研修会を、他の倶楽部の倍の月2回、開催し、必ず技量の高い人と回れる組み合わせにするなどの工夫が実っていると思います。太田双葉はかつて、関東の決勝競技で上位になったことがあります。群馬では常に強豪と言われる力を保ち、決勝でも上位と互角に戦えるチームになるよう、みんなで頑張ります。(長谷川雅広研修会会長・談)

白水ゴルフ倶楽部



Aクラスのベストスコア賞に輝いた白水GCの猿渡選手。



最終組のプレーを見る白水GCの選手・倶楽部メンバー。

代表取締役 倉林修司氏  
当倶楽部は1993年9月開場。東方に赤城山、西方に榛名山を望む、全長7118ヤードの壮大なチャンピオンコースです。  
本競技は2009年以来2度目の開催となりました。  
当倶楽部選手もプレッシャーの中、トップと4打差と健闘いたしました。力及ばず4位という結果でした。  
当日は天候にも恵まれ午後3時には全員無事ホールアウトをする事が出来、競技運営にご尽力頂きました関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、参加倶楽部関係者様、選手の皆様には、心より感謝と御礼を申し上げます。

予選競技  
栃木第1会場

Aクラス:6496Y・P72 / Bクラス:6861Y・P72  
 2022年5月19日(木) ●参加倶楽部数:18 ●  
 通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス4名、B  
 クラス3名出場、Aクラス上位3名、Bクラス上  
 位2名の合計スコア  
**ベストスコア賞**  
 Aクラス:天川 主税(サンヒルズ) 75  
 野口 政夫(佐野) 75  
 Bクラス:松本 光央(鷹) 76  
**上位3倶楽部**  
 1位 サンヒルズカントリークラブ / 397ストローク  
 2位 皆川城カントリークラブ / 401ストローク  
 3位 芳賀カントリークラブ / 407ストローク



決勝進出  
1位 サンヒルズカントリークラブ

前回、予選1位だったのが、2013年。以来、ずっと  
 念願としてきた1位通過を、ようやく果たせました。

正直、厳しい戦いになっていました。選手層  
 が薄いのに、Bクラスのエースが試合3日前、仕事で欠  
 場することに。でも、各選手がかえって奮起してくれ  
 たのだと思います。難しいコースに加えて風が強い中、  
 よく粘ってくれました。試合に出なかった研修会員か  
 らも「誇りに思う」と言われました。

中でも、神笠健司、天川主税、長沢昌彦の同い年の  
 3選手が、「あいつ以上の成績を」と、いい意味でライ  
 バル心を燃やしてくれたことが、この成績の原動力に  
 なりました。

うちの研修会は、競技一辺倒ではなく、うまくなりた  
 い人、ゴルフをもっと深く知りたい人のレベルを上げ  
 ることにも力を入れています。その中から、今回、Bク  
 ラスで頑張った佐々木恭太郎選手のように、技術だけ  
 でなく、マナーや立ち居振る舞いを身に付けた若手が  
 育ってくれることを願っています。(高橋是光キャプ  
 テン・談)



サンヒルズCCの天川主税選手はAクラスのベストスコア賞を獲得。



予選競技当日のゴルフ場入口風景。



木立に囲まれた静かなドライビングレンジ。



広々とした練習パッティンググリーン。



決勝進出  
2位 皆川城カントリークラブ

競技を終えようとする選手を出迎える  
 応援の関係者たち(北コース9番パー4)。



栃木  
第1会場予選  
塩原カントリークラブ 南・北コース  
良いコースコンディションで  
選手を迎えられたことが喜び



相馬義孝選手(塩原CC)のティーオフ。



塩原カントリークラブ



舞台を整えてくれた有志ボランティアの目土撒き。

支配人 都築久範氏  
 コロナ禍の中での競技開催にあたり、  
 関東ゴルフ連盟佐信彦競技委員長を  
 はじめ多くの方々のご指導、ご協力を  
 戴き、晴天の中無事競技を終了しまし  
 たことに心より感謝申し上げる次第で  
 ございます。  
 また当倶楽部のグリーンキーパーを  
 筆頭にスタッフ・会員・近隣の皆様にご  
 協力いただき、毎週開催のボランティア  
 活動により、良いコンディションで18  
 倶楽部の選手をお迎えできたこと、大  
 変うれしく思います。  
 当倶楽部は今年10月開催のいちご一  
 会とちぎ国体の会場にもなっており、  
 今後もより多くの方々に満足戴ける  
 記憶に残るコースづくりを目指し努力  
 してまいります。

予選競技  
栃木第2会場

Aクラス:6504Y・P72 / Bクラス:6816Y・P72  
2022年5月19日(木) ●参加倶楽部数:18 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス4名、B  
クラス3名出場、Aクラス上位3名、Bクラス上  
位2名の合計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:西川 忠克(那須小川) 70  
Bクラス:藤島 厚(足利) 71  
本澤 篤(那須CC) 71

上位3倶楽部  
1位 希望丘カントリークラブ / 376ストローク  
2位 那須小川ゴルフクラブ / 382ストローク  
3位 足利カントリークラブ / 384ストローク



朝のドライビング練習風景。



アプローチ、バンカーショット練習場。



当日は、天候もコースも良好のコンディション。



北コース1番パー5のスタート風景。



美しくゼブラカットされた北コースの9番パー5。



見事なバンカーショットを放った塩野目規雄選手(風月CC)。



バットが決まらず天を仰ぐ大橋新一選手(風月CC)。



同じく風月CCの坂本博選手のティーオフ。



風月CCの塩野目満幸選手のティーショット。

栃木  
第2会場予選

風月カントリー倶楽部  
北・中コース  
多くの制約のなか、  
競技は大いに白熱



関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技

令和4年5月19日 主催 関東ゴルフ連盟 会場 風月カントリー倶楽部

決勝進出  
1位

希望丘カントリークラブ

昨年、2位に21打差をつけただけに気の緩みが怖く、選手たちには「昨年の事は忘れて臨もう」と話していました。結果は、2年連続で1位通過。選手たち、そして見事に整備してくれた開催コースの風月カントリー倶楽部さんに感謝しています。

うちの選手は、試合で平常心を保つのが苦手です。それで、打つ前に深呼吸をするなど、ルーティンを作ってもらって手立てを考えました。緊張感をほぐすことも、キャプテンの大事な役割だと思っています。

6年前。競技志向の会員が8、9人集まったので、倶楽部の応援も得て研修会を結成。毎年、新しい人が加わってくれて、今では22、23人が切磋琢磨しています。今回、都合で出られなくなった私の代役、相馬利高さんがチームベストの73で回ったように、それぞれの力も伸びています。

私自身、いくつかのコースの研修会に参加してきましたが、希望丘の研修会が一番、居心地がいい。チームワークの良さが自慢です。(大垣春男キャプテン・談)



関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技

令和4年5月19日 主催 関東ゴルフ連盟 会場 風月カントリー倶楽部

決勝進出  
2位

那須小川ゴルフクラブ



関東倶楽部対抗栃木第2会場予選競技大

令和4年5月19日 主催 関東ゴルフ連盟 会場 風月カントリー倶楽部

風月カントリー倶楽部

支配人 床井稔氏  
天候が心配されましたが、当日は天気にも恵まれ良好なコンディションで開催することが出来ました。  
ただ、今年もコロナ感染対策のため、ギャラリーの入場制限などがあり、従来のような賑やかな雰囲気は無く、多くの制約のなかでの開催でした。  
それでも、選手の皆様の素晴らしいプレーで競技は大いに盛り上がりました。  
競技開催にあたりまして、関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、並びに参加倶楽部の選手、関係者の皆様方のご指導、ご協力を賜り無事に終了したことに感謝し厚く御礼を申し上げます。

予選競技  
栃木第3会場

Aクラス:6274Y・P72 / Bクラス:6524Y・P72  
 2022年5月17日(火) ●参加倶楽部数:18 ●  
 通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス4名、B  
 クラス3名出場、Aクラス上位3名、Bクラス上  
 位2名の合計スコア  
**ベストスコア賞**  
 Aクラス:長江 健市(矢板) 70  
 Bクラス:河本 泰司(アローエース) 75  
**上位3倶楽部**  
 1位 アローエースゴルフクラブ/377ストローク  
 2位 矢板カントリークラブ/382ストローク  
 3位 鹿沼72カントリークラブ/394ストローク



スタートティーでは独特の緊張感が漂う。



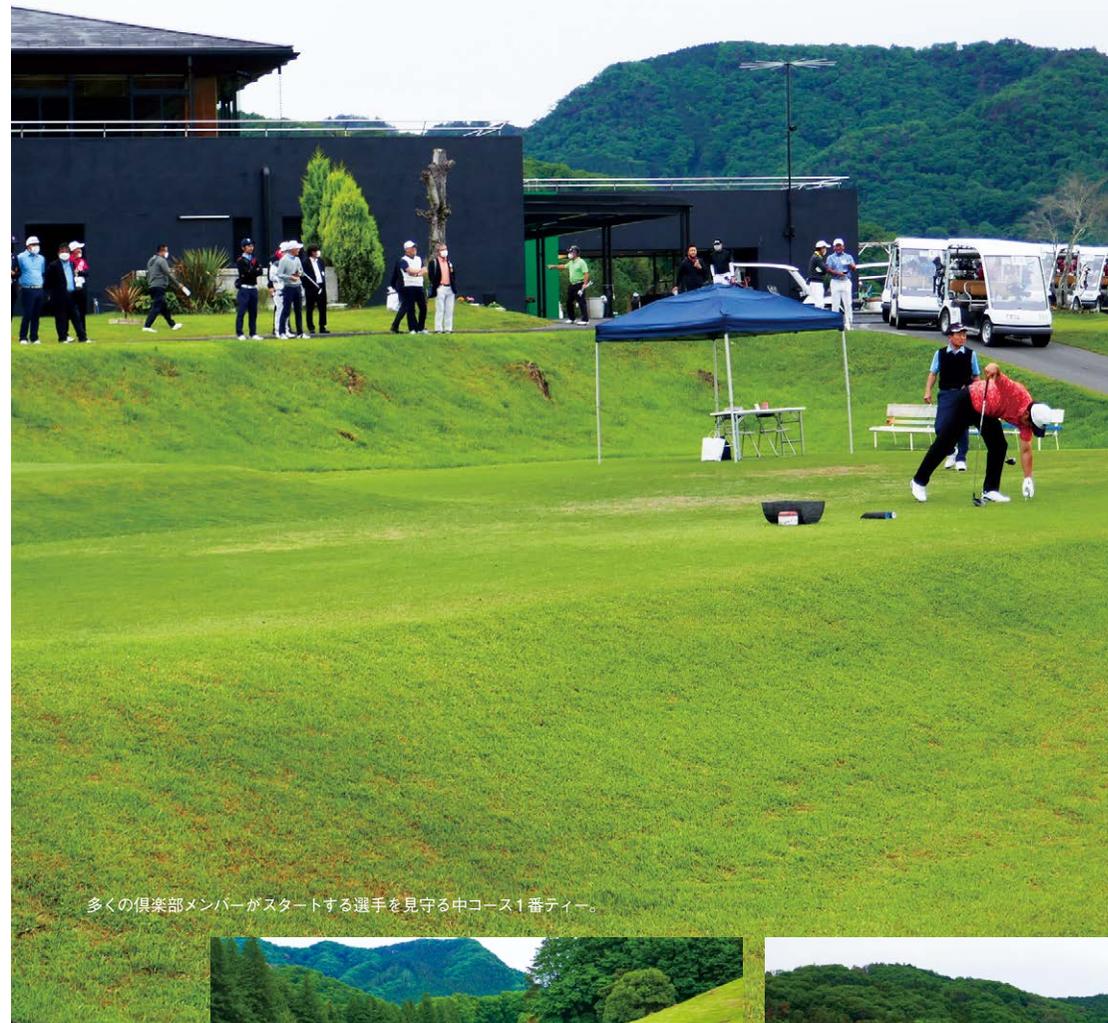
クラブハウス前で選手を応援する各倶楽部のメンバー。



ハウス内に設けられたアテスト場。



選手・関係者が昼食をとるレストラン。



多くの倶楽部メンバーがスタートする選手を見守る中コース1番ティー。



中コースの9番パー4。



朝の練習グリーン風景。



決勝進出  
1位

アローエースゴルフクラブ

この成績は、ここ数年来の倶楽部・メンバー挙げてのコースコンディション改善への意識、コース管理スタッフ皆さんのその実践の賜物でもあるかと思えます。

昨年開催した男子プロツアーのプレーヤー達からも絶賛されたグリーンは、県北地域で本当にナンバーワンだと自負します。こうしたコースの評判が素晴らしいメンバーを迎え入れ、日々のクラブ競技でもシビアなセッティングにより、よりプレーヤーの技量を向上させている好循環にもなっているのではないのでしょうか。

挑む決勝競技でも、予選で7名全員が70台の実力者揃いなので、臆することなくプレーして頂ければ、自ずと結果はついてくると思えます。ただ、指定練習日の予約電話がなかなか繋がらなくて、選手に早起きを強いてしまい申し訳がなく、でも競技当日が今から楽しみでなりません。(事務局 佐藤雄太・談)



決勝進出  
2位

矢板カントリークラブ

栃木  
第3会場予選

鶴カントリー倶楽部 中・西コース  
9年ぶりの予選競技開催も  
関係者の協力で無事競技終了



鶴カントリー倶楽部

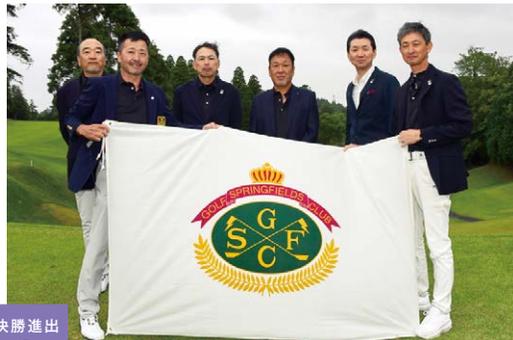
支配人 藤田英克氏  
 当倶楽部での開催は2013年以來9年ぶりになりますが、私にとっては初体験でしたので、開催コースとして分らない事ばかりでした。  
 しかし、各倶楽部関係者及びKGAの皆様にご協力いただき、無事終了できました事を御礼申し上げます。  
 また、ご出場いただきました選手の皆様、練習ラウンドから足を運んでいただいた事に対しても、スタッフ一同心より感謝申し上げます。

茨城第1会場  
予選競技

Aクラス:6324Y・P72 / Bクラス:6624Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:20 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア

ベストスコア賞  
Aクラス: 舘 英樹(富士笠間) 74  
Bクラス: 加藤 倫康(スプリングフィルズ) 75  
荒井 龍志(ノースショア) 75

上位3倶楽部  
1位 スプリングフィルズゴルフクラブ /  
314ストローク  
2位 富士カントリー笠間倶楽部 / 315ストローク  
3位 大洗ゴルフ倶楽部 / 316ストローク



決勝進出  
1位

スプリングフィルズゴルフクラブ

その昔は、茨城県内でも有数の強豪倶楽部でしたが、昨年も予選15位。そんな中で私が研修会キャプテンのバトンを引き継いでようやく一年、新規メンバーも加わった本年は不思議と一致団結して予選にのぞめました。

毎月の研修会では自身のコースのみならず、倶楽部対抗予選会場のノースショアカントリークラブにも皆で脚繁く通って研鑽を重ねたこの一年。結果、一位通過に、倶楽部の皆さんからそのキャプテンシーも称えて頂き、本当に嬉しく思います。ありがとうございます。予選当日は大雨の中、選手は皆耐えに耐え、このチーム全員のまとまりが周りの強豪倶楽部よりも少しだけ良かったのではないのでしょうか。

決勝競技大会ですが、参加できることに満足せず、出場するからには結果を出すことを目標に上位進出を目指そう、と全員で気持ちをひとつにしているところです。頑張ります。(加藤倫康キャプテン・談)



決勝進出  
2位

富士カントリー笠間倶楽部



スタート前の練習グリーン風景。



ガッツポーズの先には応援する選手仲間？



あいにくの雨に煙る18番グリーン。

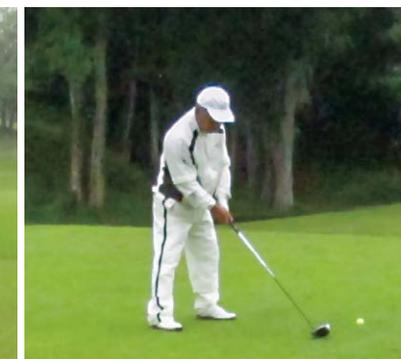
茨城  
第1会場予選

ノースショアカントリークラブ

初のKGA主催競技開催も  
無事競技を終え安堵



終日雨のなか、お疲れさまでした。



ノースショアCCの代表選手。左から富澤誠(10番ティー)、中馬秀興(1番ティー)、大川雅司(1番ティー)。



ノースショアカントリークラブ

プロジェクトマネージャー  
朝日向正義氏  
当倶楽部で関東ゴルフ連盟主催競技は初の開催でした。  
しかし、今年も新型コロナウイルスの影響が残っているなかで、通常とは異なる形式での開催となりましたが、皆様方にご協力いただき何とか無事に競技を終えることが出来ましたことに従業員一同安堵いたしました。  
今年より出場倶楽部関係者の入場制限の緩和などにより、日頃より当倶楽部も感染予防対策には十分注意しておりますが、いかに当日運営していくかということに当倶楽部も競技当日まで頭を悩ませておりました。  
さらに当日は運の悪いことに朝からの雨模様で一時雨が強くなる時間帯もありグリーンに水が浮きそうになることとなりましたが、何とか中断等の大勢には至らずに済みました。  
来年は新型コロナも収まり、通常通りの開催となることを祈念いたします。  
最後に出場倶楽部の選手・関係者の方々、また雨模様のなかサポートしていただきましたKGAの皆様へ感謝申し上げます。

**茨城第2会場  
予選競技**

Aクラス:6331Y・P72/Bクラス:6751Y・P72  
2022年5月17日(火) ●参加倶楽部数:20 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア

**ベストスコア賞**  
Aクラス:佐藤 賢二(日立) 75  
Bクラス:小倉 龍(セントラル) 74  
工藤 啓介(セントラル) 74

**上位3倶楽部**  
1位 セントラルゴルフクラブ/302ストローク  
2位 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎/313ストローク  
3位 扶桑カントリー倶楽部/313ストローク



決勝進出  
1位

**セントラルゴルフクラブ**

予選競技当日は、実は昨年ベストスコア賞の木内登喜雄選手がコンディション不良で試合に出られない中、同じBクラスで奮起してくれた小倉龍選手、工藤啓介選手が2名揃ってベストスコア賞を獲得する活躍で1位通過を果たすことができました。本当にうちの倶楽部のBクラスは層が厚くて頼もしいです。事前の練習ラウンドは調子が今ひとつだったので、一打一打丁寧にプレーしたのが良かったのでしょうか。

Aクラスにも全国レベルの茂野進司選手がいて心強いので、決勝競技では、昨年の8位からより上位を狙うためにも研修会会長の伊藤司選手と副会長の私が頑張らないといけませんね。

倶楽部対抗競技では、数字での結果目標もそうですが、倶楽部や会員メンバーのサポート、研修会の選手全員の応援を力に換える、その結束力やチームワークを発揮できるいい機会と捉えています。うちのチームはそこが誇れる自慢の倶楽部です。(大崎哲也副会長・談)



Bクラスのベストスコア賞は、ともにセントラルGCの小倉龍(左)と工藤啓介(右)の2選手。



Aクラスのベストスコア賞を獲得した佐藤賢二選手(日立GC)。



応援する倶楽部メンバー・関係者が熱い視線を注ぐ18番グリーン。



ホールインワンをマークした白帆CCの増子敬選手。



緊張のスタートホール(10番ティー)。



本予選競技には20倶楽部が参加した。



早朝から気迫が伝わる打撃練習場。



決勝進出  
2位

**ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎**



美浦GCのベストスコアはAクラスの山口公司選手がマークした。



美浦ゴルフ倶楽部

**支配人 三村道久氏**  
最高気温18℃。くもり時々小雨。ス  
テインブメーター...9・5フィート。コ  
ンパクション...23。セルフプレー。  
昨年引き続き新型コロナウイルス感染  
対策実施の状況の中、KGA競技委員  
の皆様、選手の皆様、大会関係者の皆様  
のご協力のもと、大会を無事に終了す  
ることができましたこと心より御礼申し  
上げます。  
当倶楽部はセルフプレーで実施させ  
ていただきましたが、それほど遅延な  
くラウンドを終了することができまし  
た。1倶楽部は選手を含めて12名まで  
の入場制限があり、少し寂しい感は一  
りりましたが、白熱した大会になったの  
ではと思っております。  
大会前日も1日中雨が降り、当日を  
含めて6日間連続の雨続きでの開催と  
なり、非常にコースコンディションが心  
配な状況となりましたが、何とか及第  
点をもたらえるような状態でプレーを  
していたのではないかと思います。  
早く新型コロナの感染状況が収まり、  
来年は通常開催ができることを祈って  
おります。ありがとうございました。

茨城第3会場  
予選競技

Aクラス:6414Y・P72/Bクラス:6728Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:20 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:海老原 好央(つくばね) 73  
Bクラス:小松崎 博(JGM笠間) 72  
上位3倶楽部  
1位 JGM笠間ゴルフクラブ/307ストローク  
2位 水戸グリーンカントリークラブ山方コース/  
309ストローク  
3位 茨城ゴルフ倶楽部/316ストローク



Aクラスでベストスコア賞を獲得した海老原好央選手(つくばね)。



Bクラスのベストスコア賞は小松崎博選手(JGM笠間GC)。



雨天でも最終グリーンの周りでは、大勢の応援者が見守る。



悲喜こもごもの最終ホール風景。



舞台の龍ヶ崎CCは名匠・井上誠一の設計コース(写真は18番グリーン)。

茨城  
第3会場予選

龍ヶ崎カントリー倶楽部

40年ぶりの予選競技開催  
本競技に相応しい舞台を準備

決勝進出  
1位

JGM笠間ゴルフクラブ

倶楽部として関東ゴルフ連盟加入初年度の昨年、予選競技初参加で結果は4位でした。そこから2年目の本年は、同時スタートした研修会活動もようやく軌道に乗り、選手の調子も上向き、より上位に行けるかなと実は手応えはありました。研修会皆様の年間の活動が実を結んだ予選1位通過を大変嬉しく思います。

当日は雨の一日というコンディションの中で、素晴らしいスピードのグリーン、コースを準備、開催頂いた龍ヶ崎カントリー倶楽部には本当に感謝、感謝です。決勝競技はもちろん初出場となります。分からないことが多い中ではありますが、まずは選手皆様が各人の持っている力を存分に発揮されることを応援したいと思います。JGM笠間ゴルフクラブとしては決勝競技の結果や目標云々では無く、周りの先輩倶楽部皆様のご指導を頂いて、まずは関東ゴルフ連盟新加入倶楽部としてその一歩を踏み出せたらいいなと思っております。(山田勝也副支配人・談)

決勝進出  
2位

水戸グリーンカントリークラブ山方コース



明るく広々とした朝のロビー風景。



あいにくの天候になった朝の練習グリーン風景。



龍ヶ崎カントリー倶楽部

支配人 野中貞徳氏  
倶楽部対抗予選競技が、当龍ヶ崎カントリー倶楽部で開催されるのは実に40年振りとなります。  
開催当日は本降りの雨と冷たい北風が吹く生憎の厳しいコンディションとなりましたが、20倶楽部120人の選手並びに関係者をお迎えして、何事もなく無事に競技を終了することができ安堵いたしました。  
本番当日までコース整備に務めて参りましたが、雨中でもその成果の一端をご堪能頂けたのではないかと、自負しております。  
本競技開催に当たりまして、KGA競技委員の皆様をはじめとする関係当事者の方々のご尽力を賜り、倶楽部関係者はじめスタッフ一同心より感謝申し上げます。

予選競技  
埼玉第1会場

Aクラス:6544Y・P72/Bクラス:6825Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:23 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス2名出場、5名の合計スコア

ベストスコア賞

Aクラス:辻 啓一(嵐山) 73  
Bクラス:加藤 光一(越生) 76  
今福 浩之(東京) 76  
太田 秀樹(オリムピックナショナル) 76

上位3倶楽部

1位 嵐山カントリークラブ/395ストローク  
2位 東京ゴルフ倶楽部/396ストローク  
3位 武蔵カントリークラブ/405ストローク



Bクラスでベストスコア賞を獲得した3選手のうちのひとり、今福浩之選手(東京GC)。



10番ティとクラブハウス。



朝の練習グリーン風景。



1963年に完成したアントニン・レーモンド設計のクラブハウス。



決勝進出  
1位

嵐山カントリークラブ

予選競技は2019年、21年と2回連続1位。決勝競技は昨年4位で、倶楽部創立60周年に当たる今年は、是非とも過去最高の2位の上に行きたいという思いがありました。

ところが、主力メンバーのひとりが予選の直前に故障しまして、急遽私が出場することになったんです。予選はいわゆる「※」のない、全選手のスコアがカウントされる方式で、勝手ながら「決勝には行くもの」と自負する私としては、大きなプレッシャーを感じました。

倶楽部対抗は何があるか分からないんですね。それだから面白いのでしょうし、チームの総合力が試されるということを改めて実感しました。

競技終盤、予選通過の2位以内だろうとはなんとなく予想がつかしましたが、確定するまでは落ち着きませんでした。終わってみれば、2位との差は、昨年に続いてわずか「1」。チームにとってはいい緊張感、いい経験になったと思います。(富永進監督・談)



決勝進出  
2位

東京ゴルフ倶楽部

埼玉  
第1会場予選

東京ゴルフ倶楽部

大幅なコース改造後、  
初の倶楽部対抗競技の開催



大幅なコース改造完了後、今回が初の倶楽部対抗競技開催だった。



グリーン周りがとても印象的な造形に改造された(画像中央は18番グリーン)。



東京ゴルフ倶楽部の競技委員長を囲んで選手集合。

支配人 萩原一博氏

関東倶楽部対抗の開催は2015年8月の決勝大会以来となりました。当倶楽部は、リオ・オリンピックの開催コースの設計者でもあるギル・ハンスの手により2009、10年に朝霞グリーンの改造、同17、19年に知々夫グリーン、ティ、フェアウェイバンカー等、大幅な改造を行い、新コースが完成してからは初の開催となりました。選手の皆様には存分に力を発揮して頂けます様、指定練習日から極力本番に近い状態に仕上げ、きついアンジュレションの朝霞グリーンはスピード10.7フィート、コンパクション23.5、ラフは適度に伸び、倶楽部対抗に相応しいコ

ンデーションで本番を迎える事が出来ました。当日はスタート直前から生憎の雨、グリーンスピードは少し落ちたものの、水分を含んだラフは非常に厳しかった事と思います。東京ゴルフ倶楽部の選手は、12年ぶりの予選通過目指して練習に励み、開催倶楽部の地の利を生かして2位で通過する事が出来ました。依然として収束が見えないコロナ禍での開催で、ギャラリイは今回かなり制限された形となりましたが、関東ゴルフ連盟競技委員の皆様、参加倶楽部の選手及び関係者の皆様の御支援とご協力により無事に大会を終える事が出来ました事、心より感謝申し上げます。

予選競技  
埼玉第2会場



Aクラス:6403Y・P72/Bクラス:6764Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:23 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス2名出場、5名の合計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:木本 裕二(ザ ナショナル・埼玉) 73  
Bクラス:篠田 裕邦(おむらさき) 76  
上位3倶楽部  
1位 霞ヶ関カンツリー倶楽部/399ストローク  
2位 石坂ゴルフ倶楽部/401ストローク  
3位 高坂カントリークラブ/403ストローク



左右OBの名物馬の背バー5 17番ホール。



朝の練習場風景。



インコース用の練習グリーン。



9番グリーンを見下ろす位置には大勢の倶楽部関係者が並んで観戦。



自然光が溢れるレストラン。



印象的な景観を持つ  
池越えの6番パー3。



高坂CCの高橋薫選手のティーショット。



高坂カントリークラブ



選手たちをサポートしたキャディさんたち。

埼玉  
第2会場予選

高坂カントリークラブ  
米山コース  
06年の決勝以来の倶楽部対抗  
手探りで緊張しながら開催



決勝進出  
1位

霞ヶ関カンツリー倶楽部

当倶楽部には研修会はなく、倶楽部競技の上位選手から代表が選ばれます。私は今年4月に競技委員長になりまして、倶楽部競技の注目度を高めるためにも、倶楽部対抗決勝には2年に1度くらいのペースで出場したい、という思いがありました。埼玉の予選はいわゆる「※」のない競技方式なので、代表選手には大たたきをしないうこと。そして、それぞれが1打縮めるゴルフをしよう、と呼びかけていました。私どものような突出したエースのいない倶楽部は、ラグビーで言われる「ワンチーム」を意識した戦いをするしかないんです。ところが、実は最初に登録した5選手のうち3人が急遽欠場し、交代選手が出場。それでも、終わってみたら大たたきした選手はおらず、当初目標のひとり平均80打は切ったので、一応の達成感を感じつつ、皆帰りかけていたところに事務局から「帰らないで」との連絡。1位と分かったときには感激しました。夢のような奇跡的な結果に、選手を誇りに思っています。(仙波謙治キャプテン・談)



決勝進出  
2位

石坂ゴルフ倶楽部

総支配人 根岸周平氏  
当倶楽部は昭和33年、埼玉県では4番目のゴルフ場として開場し、以来60有余年歴史と風格のある丘陵コースとして皆様に親しまれて参りました。とはいえ倶楽部対抗をお受けするのは2006年の決勝競技以来で、当時を知る職員も少なくなり、手探りで緊張しながらの準備となりました。コース管理の面では特にグリーンの普段通りの維持(早すぎず遅すぎず)に腐心しましたが、ここ最近雨が多かったことに加え、当日も雨模様となったため、選手の皆さんの感覚を少し狂わせてしまったかもしれず残念でした。現在コロナ禍で弊倶楽部でもまだまだお客様にご不便をお掛けしております。大会当日も通常の年とは違うことが多い運営となりましたが、KGAの皆様的確なサポート、参加倶楽部・選手の皆様の多大なご協力を戴き無事に開催できましたことを心より感謝しております。最後になりますが、来年は例年のように沢山のギャラリィと熱い応援で盛り上がる大会ができますよう心より祈念致します。

予選競技  
千葉第1会場

Aクラス:6390Y・P72/Bクラス:6810Y・P72  
2022年5月13日(金) ●参加倶楽部数:19 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:佐々木 康夫(鶴舞) 76  
Bクラス:杉浦 大幹(山田) 75  
上位3倶楽部  
1位 鷹之台カンツリー倶楽部/320ストローク  
2位 オーク・ヒルズカントリークラブ/  
322ストローク  
3位 山田ゴルフ倶楽部/324ストローク



76の成績でAクラスのベストスコア賞を獲得した鶴舞CCの佐々木康夫選手。



雨にも負けじと、熱い応援が競技を盛り上げた。



決勝進出

1位

鷹之台カンツリー倶楽部

2年連続で予選1位になりましたが、驚きの気持ち  
が最初にありました。昨年はみんなの調子が良くて1位。  
今年は、強風と雨に加え、ピンポジションが非常に難  
しかった。このコースで何度もクラブチャンピオンに  
なっている水上晃男さんが77をたたいたほど、苦しみ  
ました。逆に、他のチームがさらに苦戦した分、幸いし  
たのかもしれない。

昨年、決勝競技で、3打差の2位になりました。選手  
たちも頂点を意識していますが、それ以上に、「さらに  
上へ」という他の会員からのプレッシャーがすごい  
ですよ(笑)。チーム力が上がったのは、実績のある選  
手が集まってきて、これまでのメンバーが刺激を受け  
たことが大きいと思います。日本オープンが開催され  
るなど、自分を磨くのに適したコースである一方、古く  
からの名門倶楽部の中では比較的、門戸が広い。新旧  
のメンバーが混ざっているながら、チームワークが良く、  
お互いを支え合っているのが、うちの魅力だと考えて  
います。(瀬戸信昭監督・談)



鷹之台CCのエース、水上晃男選手(右端)はBクラスで出場。



悪天候にも、競技はスムーズに進行した。



決勝進出

2位

オーク・ヒルズカントリークラブ



開催倶楽部の熱意が伝わる“てるてる坊主”。

総支配人 稲田康男氏  
当日は悪天候での開催となりました。  
本来天気も良く万全のコース状態で  
お迎えしたかったのですが残念です。  
今回の開催は関係者6名までの応  
援が可能となり、天候は悪かったのだ  
ですが各倶楽部の熱い応援も伝わってき  
ました。一日も早く今までのテントで  
の応援体制に戻せることを期待しま  
すが、皆様のご協力の下無事に開催でき  
たこと感謝致します。  
当倶楽部では6月下旬より、今回使  
用していたいたオールドグリーンの  
改修工事を実施しております。  
草種はDC1を予定しております。

千葉  
第1会場予選

鶴舞カントリー倶楽部  
西コース  
悪天候にもかかわらず、  
熱い応援の予選競技に



鶴舞カントリー倶楽部

倶楽部対抗予選開催までの準備期  
間には、今後掘削することもあり肥料  
を控え散水量も制限し、固いコンパク  
ションを意識した管理を行ってまいり  
ました。  
最後に、今後も関東倶楽部対抗が盛  
大に開催されることを願っております。

千葉第2会場  
予選競技

Aクラス:6494Y・P72/Bクラス:6826Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:19 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア

ベストスコア賞  
Aクラス:露木 実(平川) 71  
Bクラス:野代 雅樹(千葉国際) 73

上位3倶楽部  
1位 総武カントリークラブ/306ストローク  
2位 新千葉カントリー倶楽部/315ストローク  
3位 鹿野山ゴルフ倶楽部/316ストローク



決勝進出

1位

総武カントリークラブ

自コースでの開催という重圧の中、出場6人中5人が70台をマークし、力を発揮してくれました。

ただ、2位の新千葉カントリー倶楽部さんと、9打差がついたのは意外でした。当日は、雨のうえに気温が低かった。それが他のチームを苦しめ、その分、コースの攻略法を知る我々には、「恵みの雨」となったのでしょう。選手たちには常々、「いいスコアではなく、たたかなかったスコアで帰ってこい」と話しています。見事に実践してくれました。

若手の育成を考え、私が年齢通りのAクラスに回るなど、選手をかなり入れ替えました。その中で、53歳の公原一キャプテンはじめ若手が頑張ってくれたことは、将来につながるはずで。

総武は、2004年に「関東一」になったことがあります。その後、経営母体が変わりましたが、倶楽部は一貫して支援をしてくれています。今回の予選は、その厚意に応えるとともに、再び関東1位に、という目標への一歩になったと思います。(杉山稔監督・談)



決勝進出

2位

新千葉カントリー倶楽部



総武CCのエースプレーヤーでもある杉山稔監督(写真は決勝で撮影)。

舞台は1964年開場の富澤誠造設計のチャンピオンコース。



千葉  
第2会場予選

総武カントリークラブ  
予選総武コース  
東・中コース

選手の熱意と倶楽部対抗独特の緊張感に身が引き締まる思い



降り続く雨にもコースコンディションは万全。



これまで数々の男子プロトーナメントが開催。



コースは入念な準備を整え競技を迎えた。



開場58年目の歴史ある林間コース。

支配人 小野浩一氏  
当日は少量の雨量であることを願い、コース管理は入念な準備をして本競技を迎えましたが、残念ながら予報以上に厳しい雨天となりました。参加倶楽部は攻略に向けて我々の予想を遙かに上回る準備をされておりました。皆様の熱心な姿勢と倶楽部対抗独特の緊張感に身が引き締まった思いです。  
総武コースは1964年に開場し今年で開場58年目を迎えます。富澤誠造先生設計の広大な敷地を使った林帯でセパレートされた27ホールが特徴で、過去には数々の男子トーナメントを開催したチャンピオンコースです。しかしながら、ここ数年は樹木の成長とともに日照を遮るホールが目立ちはじめ、

特に春先は日本芝の生育を鈍らせる傾向がありました。歴史あるゴルフコースではありますが、設計者の意図を踏襲しながら日々生まれ変わっていかなくてはならない部分もあると考えております。  
本年は総武カントリークラブの男子チームもホームコースで予選開催ということもあり、百戦錬磨の選手団も並々ならぬ思いで当日を迎えておりましたが、おかげさまで1位通過で決勝に進むことができ大変うれしく思います。  
今回の関東倶楽部対抗をきっかけに今後も会員様やプレーヤーの期待に応えられるゴルフ場を目指し邁進してまいります。

予選競技  
千葉第3会場

Aクラス:6353Y・P72/Bクラス:6686Y・P72  
2022年5月17日(火) ●参加倶楽部数:19 ●  
通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
計スコア

ベストスコア賞

Aクラス:渡辺 良隆(白鳳) 71  
Bクラス:山本 明宏(麻倉) 73

上位3倶楽部

1位 麻倉ゴルフ倶楽部/308ストローク  
2位 カレドニアン・ゴルフクラブ/309ストローク  
3位 房総カントリークラブ/311ストローク



Aクラスのベストスコア賞:渡辺良隆選手(白鳳CC)



Bクラスのベストスコア賞:山本明宏選手(麻倉GC)



富里GCのベストスコアは津葉井慎弥選手(Bクラス)。



富里ゴルフ倶楽部の名物ホール  
のひとつ、7番パー3。



マスター室前でホールアウトを見つ  
める各倶楽部の選手・メンバー。



9番のグリーン奥で代表選手のプレーを見守る応援者。



グリーン手前、左右に池が待ちかまえる18番パー5。

千葉  
第3会場予選

富里ゴルフ倶楽部

高速グリーンに  
各倶楽部の選手は苦戦!!



決勝進出

1位

麻倉ゴルフ倶楽部

下位が指定席のようなチームだったので、決勝進出は神様がもたらしてくれた奇跡としか言いようがありません。2017、18年に連続で予選最下位に沈んでから、チームを挙げて奮起しました。それから19年9位、昨年11位と少しずつ力がついてきたのは感じていました。

チームの特徴は本当に仲が良いことです。学生時代の経験者はいなくて、全員が社会人から競技ゴルフに足を踏み入れています。不調の選手がいればみんなで助け、今回も80台のスコアだった2人を翌日からラウンドに誘って和気あいあいと決勝に向けて準備を始めました。

当倶楽部のサポートも大きいです。麻倉GCは7000ヤードを超えて距離があるうえ、グリーンの状態も本当に良くなった。おかげで選手も速いグリーンに慣れることができました。決勝にはみんな緊張して臨むとは思いますが、順位よりも全員が70台で回ることを目指したいと思っています。(黄原鐵夫キャプテン談)



決勝進出

2位

カレドニアン・ゴルフクラブ



富里ゴルフ倶楽部

支配人 座間英二氏  
競技スタート前までには雨は上がり、19倶楽部の精鋭選手はAクラスとBクラス合わせて総勢114名が競技に参加されました。決勝ラウンドに駒を進めることを目標に各倶楽部は、富里ゴルフ倶楽部の仕上がった速いグリーンをいかに攻略するかが勝負どころであったように思います。

当日は降雨の影響もありましたが、グリーンスピード12フィート、刈り高3・0ミリ、コンパクション23の表示でした。これはオーガスタ・ナショナル並みのグリーンスピードを常態化させることを目指して日々努力を重ねてきたコース課の実験・研究・工夫が結果として表れたのではないかと思います。

グリーンコンパクションなどに翻弄されたという声も聞かれましたが、コースやグリーンに慣れようと複数回練習に来場された、麻倉ゴルフ倶楽部とカレドニアン・ゴルフクラブが決勝ラウンドに進む結果となりました。決勝戦でのご健闘を心より期待申し上げます。

八巻競技委員長はじめ関東ゴルフ連盟競技委員の皆様には早朝より運営に当たっていただき、無事に競技を終えられたことを心より御礼申し上げます。

千葉第4会場  
予選競技

Aクラス:6463Y・P72 / Bクラス:6791Y・P72  
 2022年5月17日(火) ●参加倶楽部数:19 ●  
 通過倶楽部数:2 ●競技方法:Aクラス3名、B  
 クラス3名出場、各クラス上位2名、計4名の合  
 計スコア  
**ベストスコア賞**  
 Aクラス:宮 辰夫(習志野) 73  
 Bクラス:雷田 俊貴(鎌ヶ谷) 73  
**上位3倶楽部**  
 1位 鎌ヶ谷カントリークラブ / 310ストローク  
 2位 アコーディア・ゴルフ習志野カントリー  
 クラブ / 311ストローク  
 3位 千葉カントリークラブ / 312ストローク



本競技の1番ホールとなった東コース1番パー4。



パッティング練習は念入りに!



今年は競技会場に活気が戻ってきた。



応援する側には熱気が戻ってきた。



降り続く雨にもグリーンは遅くならず。

千葉  
第4会場予選

千葉夷隅ゴルフクラブ 東・南コース

コースマネジメントが要求される、  
戦略的コースに改造



本競技では10番ホールとして使用された南コースの1番パー5。



決勝進出

1位

鎌ヶ谷カントリークラブ

決勝に出場するのは1999年以来と先輩から聞きました。23年ぶりの進出を勝ち取ったのは、何といってもチームワークの良さだと思います。Aクラスが50歳代、Bクラスが40歳代と年齢も近くてバランスが良く、お互いに支えあってきました。チーム戦は飛び抜けた選手がいるだけでは、その選手に過度な負担がかかるなどし、なかなか勝てません。そのことをあらためて知りました。

選手の選抜も、月例などのスコアだけでは決めていません。それ以前にゴルファーとしてどうか、マナーはきちんとしているかなどを重視し、私を含めた競技委員で決めます。倶楽部の代表として出場するわけですから、例えばボギーをたたいて周囲が不快に思うような態度をとるのは恥ずかしいことです。

決勝進出は、選手にとってこれまで頑張ってきたことへのご褒美だと思っています。だから選手たちには、思い切り楽しんで自分のゴルフをやってほしいと言いました。本当に楽しみです。(阿部芳久監督・談)



決勝進出

2位

アコーディア・ゴルフ習志野カントリークラブ



千葉夷隅ゴルフクラブ



素晴らしいコースコンディションに仕上げた管理スタッフ。

**総支配人 岡本豊氏**  
 当倶楽部は元々距離の長いコースと言われていましたが、ターゲットがぼやけて、焦点が絞りづらく、戦略性に欠けるとの声もございました。そこで、戦略性の高い本物のコースを造る必要があると痛感し、現代のパワーゴルフ時代に合わせて現在のブラックティーの後方にチャンピオンティーを増設、さらに攻略ルートを鮮明にし、より戦略性を高めるために、本競技で使用予定であった東・南コースにひと足早く2年前よりフェアウェイバンカーを中心にして大半のホールにバンカーを新設し、コースマネジメントが要求される、戦略的コースへ仕上げてまいりました。  
 本競技1か月前には関東女子ゴルフ選手権予選開催。また本競技10日前か



悪天候続きにもかかわらず、グリーンはこのスピード。

らの長雨と、コースコンディションを長期間維持していくには大変気を配りましたが、おかげさまで無事大会を終えました。サポートいただきました競技委員・関係者の皆様、そして各倶楽部の選手・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

Aクラス:6282Y・P72 / Bクラス:6690Y・P72  
 2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:14 ●  
 通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス4名、B  
 クラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合  
 計スコア  
**ベストスコア賞**  
 Aクラス:衣笠 洋司(八王子) 74  
 Bクラス:小野寺 智夫(府中) 70  
**上位3倶楽部**  
 1位 八王子カントリークラブ / 466ストローク  
 2位 府中カントリークラブ / 467ストローク  
 3位 東京五日市カントリー倶楽部 /  
 475ストローク



東京は出場14倶楽部中、通過倶楽部はわずか1の激戦会場。



応援にも熱が入る。



わずか1打及ばず決勝進出がならなかった府中CCだが、Bクラスでは小野寺智夫選手がベストスコア賞を獲得。



府中CCのBクラスの代表、牧野純也選手。



府中CCの競技委員長も務める篠塚力選手。

決勝進出

1位

### 八王子カントリークラブ

府中CCさんに1打差の接戦でしたが、うまく切り抜けたと思います。Aクラスのエース衣笠洋司選手がベストスコア賞の74。63歳で体は大きくないのですが、よく飛ばし、アプローチやパットもうまい。期待通りの活躍をしてくれました。

Bクラスは昨年から飯島慎平選手が加入したのが大きいと思います。明大出身で、今回も74で回りました。Bクラスは33歳の飯島選手を除く3人が50代前半ですが、それでも勝てたのは、みんなが競技ゴルフの面白さを知り、いろいろな競技に参加するようになり、場数を踏んできたことが大きいと思います。試合に臨む時は全員で宿泊するなど楽しくやりながら、お互いを磨きあっています。

決勝の舞台は2018年以来で、前回はみんな調子が悪くて43位。今年は距離の長いコースで練習ラウンドをするなど、準備を重ねていきたいと思っています。目標は20~25位ですが、トップ10入りの実力もあるとひそかに思っています。そうなれば最高ですね。(島村敏選手・談)

## 府中カントリークラブ

より戦略性が高まった  
コース改修後、初の開催



18番パー4をグリーン後方から望む。コースの原設計は富澤誠造氏。2014年の改修設計は横山良氏。



「都会のオアシス」といえるロケーション。



府中カントリークラブ

**支配人 内田裕憲氏**  
 東京会場予選競技は14倶楽部112名の選手が参加しての開催となりました。コロナ禍により、昨年に引き続き無観客・入場制限での開催となりました。例年のような大勢の応援団に囲まれ、熱い声援を受けて選手が奮闘するという光景を見ることは出来ませんでした。選手のスタート前の緊張感やプレー後の安堵した表情は例年と変わらないものでした。来年はコロナ禍が収束し、華やかで活気のある倶楽部対抗に戻れますよう祈念しております。

当倶楽部での開催は2011年以来で、2014年のコース改修後においては初めての開催となりました。グリーン及びグリーン周りを全面改修し、より戦略性が高まったとの評価を頂いており、選手の皆様も練習日には入念にコースチェックをされておりました。当日は生憎の雨となりましたが、中断することもなく無事に競技を終了することが出来ました。関東ゴルフ連盟競技委員の皆様のご尽力、並びに参加倶楽部の選手・関係者の皆様のご協力に深く感謝し、改めて御礼申し上げます。

予選競技  
神奈川第1会場

Aクラス:6130Y・P72 / Bクラス:6254Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数:15 ●  
通過倶楽部数:1 ●競技方法:Aクラス4名、B  
クラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合  
計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス:山田 敏紀(箱根) 72  
Bクラス:池田 純(東名厚木) 75  
中里 匡良(大相模) 75

上位3倶楽部  
1位 秦野カントリークラブ / 477ストローク  
2位 東名厚木カントリー倶楽部 / 477ストローク  
3位 箱根カントリー倶楽部 / 490ストローク



決勝進出  
1位

秦野カントリークラブ

東名厚木CCさんとの激戦となった今年は、Bクラス4人目のスコアで決着。チームの総合力を大切に、うちらしい勝ち方で2年連続1位となり、4大会連続で決勝に進出することができました。

学生時代に競技経験のある飛び抜けた選手はおらず、JGAの試合に出場経験があるものも、私を含めて2人だけ。しかもBクラスで今回出場した4人はいずれも20~40歳代の働き盛りで、平日のプレーはままなりません。そのような限られた時間の中で倶楽部も全面的にバックアップしてくれて、お互いの背中を見ながら切磋琢磨を重ねてきました。

私のモットーは、仕事をしながら楽しむのがゴルフだということ。そのための環境づくりに努めていますが、私がKGAのジュニアたちを指導してきた経験もすごく役立っています。Bクラスの中には、結婚を控えている選手もいます。決勝で戦った経験を仕事、家庭にフィードバックして、一層充実した人生を送ってもらえればと思っています。(山ノ上利充競技委員長・談)



決勝進出倶楽部はわずか1。徐々に熱を帯びるアテスト会場。



名物ホールの9番パー5。グリーン上の清川CCの小澤稔選手。



清川CCの秋元省二選手(左)と臼井正人選手(右)



清川CCの選手たち。左から中村修一、平戸進二、中井信吾、小山博生の各選手。



この日70台でラウンドした清川CCの松田永浩選手。

神奈川  
第1会場予選

清川カントリークラブ

007芝の高速グリーン  
雨天にも驚きの速さを提供



アゴの高いガードバンカー、アンジュレーションの大きなグリーンが選手を苦しめる。



清川カントリークラブ

支配人 鳥越綾乃氏  
当倶楽部では、平成17年関東倶楽部対抗会場として、平成29年には関東女子倶楽部対抗会場として、各予選競技が開催された実績がございます。昨年より神奈川県は2会場での開催となり、1会場15倶楽部(120名)に縮小され、またコロナ禍ということもあり、スループレー、ギャラリーの人数制限等、以前とは異なる形式で競技が執り行われました。  
当日は14.5℃と肌寒く、曇空で雨が降り出してもおかしくない状況の中、トップ組がスタートされました。最終組がスタートする頃には雨が降

り出してしまいましたが、選手の皆様方はグリーンに速さに苦戦していたのではないのでしょうか。雨が降っていたにも関わらず、グリーンにスピードは12・0フィート、晴天だったららとコース管理担当者は少し残念そうでした。日頃よりご来場の皆様には最良のコンディションをご提供出来るよう、コースメンテナンスに力を入れておりますが、この日に向けての仕上がりは、競技開催コースとして十分な成果が出せていたのではないのでしょうか。  
これもひとえに会員の皆様のご理解とスタッフの努力や協力のもと、成し遂げられたと実感しております。

Aクラス:6442Y・P72 / Bクラス:6697Y・P72  
2022年5月16日(月) ● 参加倶楽部数: 14 ●  
通過倶楽部数: 1 ● 競技方法: Aクラス4名、B  
クラス4名出場、各クラス上位3名、計6名の合  
計スコア

ベストスコア賞  
Aクラス: 鬼頭 謙治(平塚富士見) 76  
Bクラス: 鈴木 優也(津久井湖) 75  
金子 光規(戸塚) 75

上位3倶楽部  
1位 伊勢原カントリークラブ / 478ストローク  
2位 津久井湖ゴルフ倶楽部 / 480ストローク  
3位 葉山国際カンツリー倶楽部 /  
482ストローク



豪快な打ち下ろしの1番パー5。



広々としたフェアウェイの5番、第2打地点。



当日は、雨とともに寒さが選手の敵になった。



早朝の練習グリーン風景。



決勝進出

1位

伊勢原カントリークラブ

決勝進出は2007年以来です。その後は低迷が続いたのですが、昨年の3位(通過ならず)。そして今回1位になれたのは、研修会の坂見敏夫キャプテンの存在が大きかったです。キャプテンは研修会メンバー皆に慕われるかたで、この2~3年はご高齢の「キャプテンをもう一度決勝に連れていこう!」を合言葉に、皆が切磋琢磨してきた成果です。

予選競技1位の結果は、最終組のホールアウトまで確定しませんでした。1位と分かったときは、全員大喜びで、すぐにキャプテンに連絡しました。キャプテンは涙声で「ありがとう!」と喜んでおられました。

もうひとつ、今回私は選手に具体的な戦略上の注意点を話しました。それは「ダブルボギー」「3パット」、そして「ロングホール(パー5)でのボギー」を極力避ける、ということ。つまりは無理な攻めはしないということですが、それを具体的に語ったのが、結果的に良かったと思っています。(帖佐寛己副キャプテン・談)

平塚富士見カントリークラブ 大磯コース  
雨天の寒く厳しい天候のもと、  
無事競技を終えたことに感謝



なだらかな打ち上げとなる  
18番パー5のティーイングエリア。



平塚富士見カントリークラブ

支配人 唐津敦氏  
昨年の平塚コースに続き当倶楽部大磯コースにおいて、倶楽部対抗神奈川予選競技が開催されました。  
昨年同様、ギャラリーの入場制限等、コロナ禍での開催となりました。  
また、当日は雨が降り5月とは思えないほど寒く厳しい天候となりましたが、事故なく一日を終了することができ安堵いたしております。  
2年連続の開催を成功裏に導くため、多大なるお力添えをいただきました関東ゴルフ連盟競技委員の皆さま、各倶楽部からの参加選手・関係者の皆さまに改めて御礼申し上げます。



アテスト会場も広いスペースが用意されている。



広々としたスペースの受付カウンター。



決勝進出

1位 太平洋クラブ御殿場コース

関東倶楽部対抗出場は今年が2年目。初出場の昨年も1位通過でしたが、そのときは2位と1打差。いわゆる「※」のない、出場6選手のスコアが加算される競技方式の難しさを実感しました。今年は、2位との差を開くことができたのは、ひとつは開催コースを良く知る選手が多かったこと。もうひとつは、当倶楽部の代表選手はグループ各コースの予選を勝ち抜いた選手による「太平洋クラブ選手権決勝」を経て選ばれる仕組みで、もともと競技経験が豊富なうえ、「同選手権決勝」のときから選手たちには関東倶楽部対抗への意気込みを伝え、高い目標を持ってもらえたことも、いい結果につながったと考えています。

関東倶楽部対抗の決勝競技では、昨年は開催コースでの練習不足で、セカンドの距離感が合わない選手が多く、実力を発揮できませんでした。悔しい思いがありますが、選手たちにはリラックスして、競技を楽しんでもらいたいと思っています。(古川潔キャプテン談)



決勝進出

2位 富士宮ゴルフクラブ



決勝進出

3位 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ

予選競技  
静岡会場

Aクラス①②: 富士→甲斐コース6415Y・P72/  
Aクラス③: 駿河→富士コース6299Y・P72/  
Bクラス①②: 甲斐→駿河コース6925Y・P72/  
Bクラス③: 駿河→富士コース6697Y・P72  
2022年5月16日(月) ●参加倶楽部数: 29 ●  
通過倶楽部数: 3 ●競技方法: Aクラス3名、B  
クラス3名出場、6名の合計スコア  
ベストスコア賞  
Aクラス  
富士→甲斐コース: 日吉 一智(フジ天城) 70  
駿河→富士コース: 西田 豊明(富士小山) 74  
安藤 弘(富士宮) 74

Bクラス  
甲斐→駿河コース: 山下 明史(富士チサン) 70  
駿河→富士コース: 斉野 恵康(太平洋・御殿場) 70

上位3倶楽部

1位 太平洋クラブ御殿場コース/ 447ストローク  
2位 富士宮ゴルフクラブ/ 457ストローク  
3位 朝霧ジャンボリーゴルフクラブ/  
462ストローク



Aクラスのベストスコア賞のひとり、安藤弘選手(富士宮GC、決勝競技の画像)。



倶楽部仲間の応援を背に受けてのスタート風景。



スタートテント内で説明を受ける選手たち。



雨と霧の気象状況が心配されたが、競技は無事終わることができた。



緊張感も感じ取れる朝のパッティング練習場。



朝霧ジャンボリーGCの堀内芳洋選手(左)と前田高志選手(右、ともに決勝競技の画像)。

静岡  
会場予選

朝霧ジャンボリーゴルフクラブ

甲斐・駿河・富士コース  
雨と霧の厳しいコンディション  
全174選手が無事競技を終了

支配人 佐野信弥氏  
関東倶楽部対抗が朝霧ジャンボリーで開催されるのは11年ぶりです。当日は雨と霧で厳しいコンディションとなりましたが、174名の選手全員が何とか無事ホールアウトできました。開催に際しご尽力いただいたKGA競技委員の方々をはじめ関係者の皆様感謝申し上げます。  
また、開催倶楽部のプレッシャーがありながらもジャンボリーチームは3

位で決勝に進出することが出来ました。応援いただいた皆様により御礼申し上げます。  
当倶楽部は昭和50年4月に開場し今年で47年目を迎えます。甲斐・駿河・富士の3コースからなる27ホールは、富士山の前庭340万坪の広大な敷地を活かしたゆったりとしたレイアウトで、目の前に迫る富士山に向かって豪快にショットする爽快感が魅力です。



# 姉ヶ崎CC アベック初優勝!

関東倶楽部対抗で、男女ともに初優勝を果たした姉ヶ崎カントリー倶楽部。特に男子は、倶楽部設立60周年記念事業として決勝会場を誘致した「ホーム」でのうれしい頂点だった。快挙の背景にどのような努力、工夫があったのか。キーマンとなったのが、男女両チームを率いる佐久間義雄監督と、代表チーム、研修会を支え続けてきた専務取締役支配人の牧博志さんだ。



研修会を支え、活性化させた牧博志専務取締役支配人。

## ゴルフの上手い会員に 研修会入会を口説く

男子は、2008年の9位を最後に、18年まで10年連続で決勝進出を逃していた。浮上のきっかけとなったのが、その当時、牧支配人が競技委員全員に手紙を送ったことだった。そこには「これまでの成績は倶楽部として納得できません。常時、決勝に進出するチームになって欲しい。強化を佐久間監督に一任することに賛同してください」という趣旨の事が書かれていた。

佐久間監督は、「それまでも一生懸命やっていた。でも、あの手紙で、倶楽部としての強い気持ちを感じた」と振り返る。牧支配人からは「1、2年で、とは言わない。3年がかりで強いチームを作って」と、要望されたという。

まず、佐久間監督が行ったのが、会員の中から上手な選手を見つけ出す「人材発掘」だった。学生時代に競技ゴルフの経験はあっても、社会人になってからは「接待ゴルフ」「社用ゴルフ」が中心という会員が何人もいた。監督は、うまい会員がいると聞くと、訪ねて行って研修会入会を口説いた。こうして加わったのが、今回の優勝に貢献した高橋利哉選手や、永井貴之選手だった。

低迷時代から、佐久間監督と共に倶楽部対抗を戦って



様々な方策で研修会を強化、男女優勝につなげた佐久間義雄監督。

## 男女ともに低迷する 代表チームを頂点に導いた ふたりのキーマン

### 女子もチームワークの良さが最大の長所

佐久間監督は、「女子も、男子同様、チームワークの良さが最大の長所」と話す。

女子は、18年から昨年まで、予選敗退を続けていたが、今年の予選では、2位チームに実に16打もの大差で、トップ通過。決勝でも、2位に9打差をつける完勝だった。男子は、ホップ、ステップ、ジャンプと段階を踏んで頂点に立ったが、女子はいきなり「ジャンプ」で初優勝を勝ち取った。

佐久間監督は、「今年に入って、チームが一気に変わった」と話す。「エースの吉田茜選手頼みだった」(佐久間監督)チームに、若手の実力者、吉田えり選手が加わって両輪を形成。「さらに、徳島恭子選手も、倶楽部対抗のためにKGA主催競技に率先して出場することで力を付け、選手がそろった」ことを、佐久間監督は優勝の理由に挙げた。

女子研修会の活性化も見逃せない。数年前まではメンバーがそろわず、毎月の研修会が成立しないこともあったという。それが、参加資格を緩める方策をとったことで、今では小暮博美女

きた傍島伸之選手は「強力な戦力が加わったことで、もともといた選手たちも、やる気が出た」と話す。牧支配人からは「3年がかりで強いチームを」と要望されていたが、19年、予選を突破し、決勝で5位。早々と成果が出た。20年はコロナで大会が中止となったが、21年には決勝で3位に入り、「ますますチーム全体に自信が湧いた」と傍島選手はいう。

### 「団体戦」には 独特の緊張感がある

佐久間監督が、次に打った手が「場慣れ」だった。選手たちは、関東ゴルフ連盟(KGA)の競技に積極的に参加するようになったが、「団体戦」には独特の要素、緊張感がある。そこで、昨年「ラキールカップ日本クラブチーム選手権」に傍島、高橋、永井、神取佑樹選手が出場、倶楽部対抗に向けて経験を積むことにした。

同選手権は、4選手のうちベスト3選手の合計スコアで競うが、昨年は首



世代を超えて和気あいあいと交流する女子研修会のメンバー(研修会主催の祝賀会にて)。

前列中央の佐久間義雄監督を中心に固い団結を誇る男子研修会メンバー。



低迷時代からチームを支え、今回、チームのベストスコアで優勝に貢献した傍島伸之選手。

位と2打差の4位。この時、全員が「1打の重み」を実感する。今年5月の同選手権では、同スコアでトップになったものの、4番目の選手の成績により、2位となった。

佐久間監督らは、「この経験が、今回の優勝に大きく役立った」と見る。

今回、Bクラスで3番目のスコア、つまりチームスコア(Aクラス、Bクラス各上位2人の合計スコア)から除外される成績だった神取選手が「1打でもいいスコアで」と、最後まで必死にラウンドしたのは、「1打の重み」に加え、倶楽部対抗のルール「チームスコアが同じ場合は、Bクラス3番目のスコアを比較」というチーム戦ならではの規則を、ラキールカップで身をもって体験していたからだ。

結果は、2位に1打差での優勝だったが、もし、他のどのチームとスコアで並んでいたとしても、神取選手の76はBチーム3番手の中のベストスコアで、やはり姉ヶ崎が競り勝っていた。

子研修会長を中心に、40人強が切磋琢磨するようになった。佐久間監督は「年に数回、男女合同の研修会を開催しているが、それもレベルアップにつながったと思う」という。

吉田茜選手のインスタグラムを見てみると、決勝会場の青梅ゴルフ倶楽部で練習ラウンドした際、「ユニフォームのバックマン柄、キャプテンが採用してくれました。アガール」「青梅は、ちよつと姉ヶ崎と似てる。やつぱり小さい2グリーン落ち着くわ」など、実に明るく楽しそう。男子チームも、「本当に仲が良く、言いたいことが言える間柄」と佐久間監督。アベック優勝を成し遂げたのは、この明るさ、屈託のなさも、大きな役割を果たしたのだろう。



# 姉ヶ崎CC 倶楽部と選手の「一体感」で 掴んだ栄冠

姉ヶ崎カントリー倶楽部が開場したのが、1960年（昭和35年）。同倶楽部を運営する平和農産工業（株）の営業部長代表取締役社長、牧博志・同倶楽部専務取締役支配人らが「60周年記念事業にふさわしいもの」と考えたのが、関東倶楽部対抗決勝競技の誘致だった。新型コロナウイルスのまん延で2020年の競技が中止になったことなどで予定がずれ、実際には創立63年目での開催となったが、男子が史上8チーム目の開催地V、女子も初優勝を果たす最高の結果となった。

牧支配人は、「アベック優勝は出来すぎ」と笑いながらも、「関東ゴルフ連盟（KGA）で一番大事な試合である倶楽部対抗の決勝競技をやらせていただいたことが、本当に光栄でした」と、無事に開催できたことを一番に喜んでいる。

## 倶楽部対抗決勝競技順位

年	順位	参加倶楽部数
1981	11位	176
1982	不出場	184
1983	不出場	190
1984	29位	201
1985	8位	205
1986	2位	212
1987	不出場	220
1988	不出場	228
1989	不出場	235
1990	不出場	249
1991	不出場	261
1992	不出場	269
1993	不出場	280
1994	不出場	278
1995	26位	276
1996	不出場	282
1997	不出場	291
1998	不出場	295
1999	28位	308
2000	23位	314
2001	不出場	316
2002	不出場	325
2003	不出場	328
2004	不出場	339
2005	不出場	346
2006	44位	353
2007	不出場	355
2008	9位	351
2009	不出場	356
2010	不出場	368
2011	不出場	355
2012	不出場	384
2013	不出場	393
2014	不出場	398
2015	不出場	405
2016	不出場	398
2017	不出場	407
2018	不出場	404
2019	5位	409
2020	中止	
2021	3位	396
2022	優勝	413



コースの改造、改良を重ねたこともレベルアップにつながっている。アゴを高くした東コース8番フェアウェイバンカー。

## コース自体が鍛えられる 予選・決勝競技開催

自分たちの努力も、地道に続けてきた。優秀なキャディー4人を先生役に

指名。営業終了後、生徒のキャディー2人ずつを約2時間、指導してもらい、レベルアップを図ってきた。今回の倶楽部対抗では、こうして鍛えられたキャディーたちが選手たちをサポートした。代表チームが低迷から浮上するきっかけとなったのが、牧支配人が当時の競技委員に「カツ」を入れる手紙を送ったことだが、コースの改造も選手のレベルアップにつながっている。例えば、東コース8番。右側のフェアウェイバンカーのあごを身長の高さほどに盛り上げ、バンカー越えの狙いにリスクを加えた。

男子代表の傍島伸之選手は「我々は、練習場をいつでも使わせてもらえる。朝、プロに教わることもでき、レベルアップにつながった」と、倶楽部側の協力に感謝する。「選手が頑張るだけではだめ。倶楽部、研修会が一緒になって、強いチーム作り

をしたことが、今回の結果だと思う」。創立60周年事業は、倶楽部と選手の「一体感」も生むことになった。



# 勝利は個々の成長と チームワークの相乗効果

女子チームの優勝は、言うまでもなくスコア69で最優秀選手賞に輝いた吉田茜選手と、同70で続いた吉田えり選手の活躍によるところが大きい。

しかし、日本女子ミッドの常連でもある茜選手も、「69」は公式な競技での自己ベスト。えり選手も、姉ヶ崎CCの研修会ではいつも75前後のプレーヤーで、「70」はやはり自己ベストだった。

決勝競技での「大爆発」の要因は、ひとつは青梅GCのコースの戦略性が姉ヶ崎CCに似ており、マネジメントを立てやすかったこと。そして、もうひとつが、チームワークの良さで茜選手は明かす。

現在のチームは、佐藤みゆきキャプテンやベテランの小暮博美選手のリーダーシップで、研修会全体がまとまり、メンバーの意識が高まった。

そのうえに、徳島恭子選手が昨年、日本女子ミッドに出場するまでに力を付けたことが相乗効果と呼び、両吉田選手とも刺激し合えるチームになったことが大きいと語る。

また、同研修会には、立ち上げのメンバーであり、83歳のいままKGA競技に出場しては、エージシユートに迫るプレーを続ける山口八重子選手が所属する。彼女のゴルフの組み立ては、茜選手も勉強になるので、「研修会に出てくださるだけでありがたいのです」と口にする。

## 女子倶楽部対抗決勝競技成績

年	順位	参加倶楽部数
2010	不出場	183
2011	18位	186
2012	22位	197
2013	不出場	196
2014	25位	202
2015	不出場	205
2016	3位	203
2017	6位	212
2018	不出場	212
2019	不出場	220
2020	中止	
2021	不出場	218
2022	優勝	231

姉ヶ崎CCの女子研修会はいまだ発展途上にあるようだ。

## 研修会主催 “アベック” 優勝祝賀会



牧博志（左）は、研修会を立ち上げたベテランOGの姿も。右端の山口八重子（83歳）は現役メンバー。



祝賀会には女子研修会を立ち上げたベテランOGの姿も。右端の山口八重子（83歳）は現役メンバー。



姉ヶ崎CCでは年数回の男女会同研修会を開催する。



菅 千太郎会長 姉ヶ崎カントリー倶楽部

男子の倶楽部対抗決勝競技開催は、私どもの開場60周年の記念行事の一端として企画されたものです。研修会のメンバーは、ホームコースでの開催に恥ずかしくない結果を出そうと、切磋琢磨してくれた成果と感謝しております。

今回の優勝は無論、ホームコースの恩恵はありましたが、牧博志支配人の力も大きかったと思います。支配人が研修会だけではなく、倶楽部全体を明るく、風通しの良い組織にまとめてくれました。本来、代表チームは倶楽部という土台の上に作られるもの。強い代表チームには、しっかりとした倶楽部のバックアップが必要です。牧支配人はそうした環境を作ってくれました。女子も、吉田茜さんという有力な競技ゴルファーがおりますが、今回は研修会のチームワークの勝利でしょう。仲が良く、互いに刺激し合える研修会であったことが要因と理解しております。この度の男女両制覇は倶楽部にとても良い刺激です。これを契機にメンバーさんのゴルフライフがより活性化することを期待しております。

**決勝競技**

**青梅ゴルフ倶楽部** 東・西コース  
5年ぶり決勝出場の  
姉ヶ崎CCが歓喜の初制覇！



吉田えり選手の最終ホールアウトを見届け拍手。

朝方までの霧雨が、コースの青梅の実をキラキラと輝かせる。ここ青梅ゴルフ倶楽部。令和4年6月22日、2022年関東女子倶楽部対抗決勝競技が開催された。

数えること12回目の開催、1都10県からそれは厳しい予選会を勝ち抜いた30倶楽部120名の精鋭がそれぞれ揃いのユニフォームで華やかに集った。

優勝は姉ヶ崎カントリー倶楽部(千葉)。選手4人で奪ったバーディーは出場倶楽部最多の11個。上がってみれば、採用スコア(上位3選手)平均が73ストローク。2位の太平洋クラ

ブ御殿場コース(静岡)に9ストロークの大差をつけての圧勝であった。

チームの佐藤みゆきキャプテンは、今回の決勝競技では選手のサポート役も、予選競技では代表選手としても活躍。インタビュではとても嬉しそうに、

「みんな頼もしい選手ばかり。こんなワクワクした1日はありませんでした」と、優勝へのキーも振り返ってくれた。

そのひとつは、新戦力の吉田えり選手。彼女に触発されて他の選手のモチベーションが劇的に変わってきたこと。

もうひとつのターニングポイントは予選競技の圧倒的な1位通過。あの難関、成田ゴルフ倶楽部を選手全員で攻略出来た自信。それが上手くそのまま決勝当日まで続けてこられたことだった。

特に今回スコア69でチームに最大の貢献を果たし、最優秀選手賞に輝いた吉田茜選手は前半だけで3アンダーとして、早いスタート組で上がってくる。

このスコア情報が共有されると、後半の他倶楽部に、選手に影響が見え始める。前半30台の好スコアでラウンドしたプレーヤーの多くはいい意識が働いて好スコアに繋がり、70台でラウンドする選手が今までになく多く見られる結果となった。

吉田茜選手いわく、「練習ラウンドは1回だけでしたが、その1ラウンドでいいイメージが持

**抗 対 部 楽 子 女 東 関**

**拓く、新時代の予感  
攻めた11バーディ、栄冠は姉ヶ崎CCへ**



吉田えり選手のフィニッシュを見つめる姉ヶ崎CCの選手・関係者。

**関東女子倶楽部  
対抗予選競技**



5776Y・P72  
2022年6月22日(水) ● 参加倶楽部数: 30 ●  
出場選手数: 120名 ● 競技方法: 4名出場、上位3名の合計スコア  
ベストスコア賞  
吉田 茜(姉ヶ崎) 69  
上位5倶楽部  
1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部/219ストローク  
2位 太平洋クラブ御殿場コース/228ストローク  
3位 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部/229ストローク  
4位 新千葉カントリー倶楽部/230ストローク  
5位 東千葉カントリークラブ/231ストローク



**優勝**

姉ヶ崎カントリー倶楽部

70打で競技を終えた吉田えり選手(右)を大喜びで迎える姉ヶ崎CCのメンバー。この時点で優勝がほぼ確定した。



徳島恭子選手

小暮博美選手



初優勝の原動力となったダブル吉田。吉田えり選手(左)と、最優秀選手賞受賞の吉田茜選手(右)。



レストランは終日大賑わいだった。



青梅GCの厚意で開設されたフリースペースのテントも競技終盤は大勢が利用した。

今年も入場制限が実施され、応援テントの設営もない決勝競技だったが、それでも今回は以前の明るく、華やかな女子倶楽部対抗が少し戻っていた。そのベースには、開催倶楽部の青梅ゴルフ倶楽部の素晴らしい「おもてなし」の運営があった。

雨天の場合や、コロナ禍にインドアの「密」を避けたい来場者のために設けられた「フリースペース」(2張りの大型テント)は、現場スタッフの発案によるもので、実際に多くの人々が寛いでいた。

また、レストランは早朝から夕刻まで常時利用者の姿があったが、スタッフは皆笑顔でテキパキと対応。雰囲気も良く、競技終了後もしばらく多くの選手・関係者が会話と飲食を楽しんでいた。

「当倶楽部では20年も前から『笑顔で挨拶。笑顔で接客。ゴミなし倶楽部』を合言葉に運営してきました。その姿勢が根付いていたから、今回好評を得られた、と思っています」(堀口勝行支配人)

おかげで選手は気持ちよくプレー。いい思い出の倶楽部対抗になったはずだ。



千葉カントリークラブ



玉造ゴルフ倶楽部



扶桑カントリー倶楽部



東京五日市カントリー倶楽部



秦野カントリークラブ

# 華やかな女子倶楽部対抗が 少しずつ戻ってきた。



優勝倶楽部の吉田茜を祝福する人見佳乃(左、太平洋クラブ御殿場)と佐藤玲(右、新千葉CC)の各選手。



姉妹で活躍した紫雲GCの佐藤愛美(左)、  
萌美(右)両選手。



ホームチームの青梅GCも熱い応援。



ホールインワンを達成した鈴木良子選手(館山CC)に、佐藤敏明KGA副理事長(当時)から記念品が贈呈された。



青梅ゴルフ倶楽部

てました。だって青梅GCのコースレイアウトがホームコースの姉ヶ崎そっくりでしたから」と、丘陵地の適度なアップダウン、かつ広いフェアウェイの青梅GCと自身のゴルフとの相性の良さを勝因にあげた。

決勝2位となったのは、参加2年目の太平洋クラブ御殿場コース。初参加の昨年は決勝競技を自身のコース(御殿場ウエストコース)で開催。チームの戦力強化に、倶楽部の強いサポート体制と意気込みが見えた。今後も注目の倶楽部となりそう。

昨年決勝競技3連覇を達成し、注目を集めた東千葉カントリークラブは結果5位にとどまった。

今回は、各倶楽部が進む世代交代ではなく、出場選手の技量、プレー意識の向上が強く見られた一日であった。

一方、開催に尽力頂いた青梅GCの堀口勝行支配人は、「選手皆さんが無事にスタートできるようにとスタッフ全員で準備してきました。でも、普段の営業から特別変わったことはしていませんよ」と、優しい眼差しで大会をサポート。年間を通じて競技開催が盛んで、公式競技も積極的に受け入れている同倶楽部。ハウス内の壁面にはジュニアプレーヤーからの感謝御礼状や写真なども並ぶ。

平時のゴルフ競技、文化への理解がそこかしこに見える青梅GC。優れたクオリティーのコースが選手を育くむのだと、改めて日々の継続の大切さを感じた決勝競技でもあった。

(富澤 仁・広報委員)

予選競技  
新潟会場

5519Y・P72  
2022年6月1日(水) ●参加倶楽部数：16 ●通過倶楽部数：2 ●競技方法：5名出場、上位4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
戸枝 亜紀子(笹神五頭) 76  
佐藤 愛美(紫雲) 76  
上位3倶楽部  
1位 紫雲ゴルフ倶楽部/313ストローク  
2位 日本海カントリークラブ/326ストローク  
3位 湯田上カントリークラブ/327ストローク



紫雲GCのエース、佐藤愛美選手はベストスコア賞を獲得した。



練習グリーンからも日本海を眺望できる。



天候に恵まれた予選競技となった。



決勝進出  
1位 紫雲ゴルフ倶楽部

倶楽部の中の3人ほどが競技関係の事務局として、男女のチームをサポートしています。

お蔭様で、今年も2位に13打をつけて1位で通過することができました。これで4回連続の1位、10回連続の決勝進出(うち1回、決勝不出場)です。研修会はありませんが、年に8回ほど選考会を開催して選手を選んでいます。競技志向のある方は6、7人しかいませんが、みなさん高い意識を持ち、個々の力も優れています。

今回も、佐藤愛美さんが2年連続のベストスコア賞を獲得するなど、全員が実力を発揮しました。キャプテンの田村幸子さん、今回は出場しませんが中山慶子さんの両ベテランがチームを引っ張り、中堅が二人、20歳代が二人と年齢は様々でも、チームワークの良さは抜群です。会場の柏崎カントリークラブさんには、クラブバスなどで練習に行きましたが、ラウンド中、そして行き帰りの時に、攻め方の情報を共有して本番に結び付けていました。(営業本部付 石井妙子さん・談)



打ち下ろしとなる米山コースの1番パー4。



日本海に沿って……。佐渡コース4番パー4(プロモーション画像)



日本海に向かって打ち出す佐渡コース3番パー5(プロモーション画像)。



決勝進出  
2位 日本海カントリークラブ



前畑美樹子選手(柏崎CC)



小林郷子選手(柏崎CC)



小林キヨミ選手(柏崎CC)



柏崎カントリークラブ

支配人 矢代秀彦氏  
当倶楽部は、今年開場35周年を迎えました。27ホール中、22ホールから日本海が見える、佐渡、弥彦、米山の3コースがあります。美しい海と緑を望む、快心の27ホールです。  
平成24年(2012年)以来、10年ぶり2回目の当倶楽部での開催となりました。当日は天候にも恵まれ、16クラブ80名の参加選手により熱戦を繰り広げていただきました。当倶楽部の成績は8位でした。  
新型ウイルス禍の続く中、感染対策を実施しながらの運営となりましたが、KGA競技委員の皆様、各倶楽部選手、関係者の皆様方のご協力のおかげで競技会を無事終えることができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

新潟  
会場予選

柏崎カントリークラブ 米山・佐渡コース  
10年ぶり2度目の開催は  
好天のもとでの熱戦に

予選競技  
長野会場

5739Y・P72  
2022年5月30日(月) ●参加倶楽部数：15 ●  
通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
丸山 みち子(豊科) 74  
上位3倶楽部  
1位 中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部/  
321ストローク  
2位 穂高カントリークラブ/ 333ストローク  
3位 長野国際カントリークラブ/ 334ストローク



決勝進出

1位

中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部

このところ決勝大会へは進めていましたが、ずっと2位通過だったので、今回はホームコースということもあって、「何とかトップで行きたいね」と話していました。予選会当日はゴルフ日和でしたが、地元開催というのがかえってプレッシャーになったところがありました。それでも、1位になれてホッとしました。選手は倶楽部の公式競技と女子研修会のなかで、ベストスコア3枚で選考しますが、ゴルフ場の営業が4月から11月くらいまでで冬季クローズになるので、冬場は練習場での個人練習以外は、各人、月2回程度のラウンドがせいぜい。1カ月以上空くこともあります。ただ、女子研修会自体が10~15人と少人数で、皆顔が分かった気心の知れた仲間なので、チームとしてはまとまりがあると思います。

決勝大会では8位辺りがこれまでの最高位なので、もう少し上に行きたいとは思っています。ただ、会場が遠く、指定練習日の1回のラウンドで本番に臨むことになり、なかなか難しいところです。(山下かつみキャプテン・談)



中央道晴ヶ峰CCは応援も力に、2位以下に大差をつけての1位通過。



こんなポーズでVサイン。



中央道晴ヶ峰CCの高田真希選手のパッティング。

中央道晴ヶ峰CCの代表選手。左から小林恵、市場智子、上條春海、泉谷寛子の各選手。



長野  
会場予選

中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部

自コース開催の重圧を  
跳ね返して1位通過



競技は良好なコンディションのもとで開催された。



カートのフェアウェイ走行で競技はすいすい進行。



天候にも恵まれ笑顔いっぱいの予選競技に。

支配人 清水研志氏  
当倶楽部では今回初めてKGAの競技を開催するということもあり、事前準備からKGAの競技委員の皆様にご協力をいただき、取り掛かってまいりました。当日は天候にも恵まれたこともあり、良好なコンディションで開催できたことに一安心しております。  
自コース開催ということで当倶楽部の選手も重圧があったようですが、幸運にも第1位で予選突破をできたことにうれしく思っております。  
また、競技開催にあたりまして、KGA競技委員の皆様および関係者の皆様にご尽力いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

決勝進出  
2位

穂高カントリークラブ





山梨会場  
5442Y・P72  
2022年5月25日(水) ●参加倶楽部数：13 ●  
通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
庄司 春美(都留) 77  
上位3倶楽部  
1位 オリンピックカントリークラブ / 335ストローク  
2位 都留カントリー倶楽部 / 348ストローク  
3位 富士レイクサイドカントリー倶楽部 /  
351ストローク



決勝進出

1位 オリンピックカントリークラブ

試合前はぐずぐずした天気が多く、指定練習日も雨でした。少しトリッキーなコースに苦戦していましたが、途中で動物がコースを横切り、キャディーさんに「アナグマ」と教えていただいて、みんなでなごみました。

本番の日は、素晴らしい晴天でした。開場と同時に会場に入り、オリンピックの支配人はじめ関係者の方たちと言葉を交わすと、気が引き締まりました。練習グリーンでグリーンスピードを確かめたり、スタートホールを眺めたりしていると、ワクワクした気持ちと緊張感が入り混じってきました。

選手全員で、「何があっても頑張ろう」と声を掛け合いました。結果、予選1位。みんなで喜び合いました。仲間たちが応援に駆けつけてくれ、深く感謝しています。

末筆になりましたが、大会関係者の皆様、練習ラウンドの時から「頑張ってください」と声をかけていただいた桜ヒルズゴルフクラブのキャディーさん、フロントの方々、素晴らしい1日をありがとうございました。(田村和代選手兼会長)



決勝進出

2位 都留カントリー倶楽部



オリンピックCCは2位の都留CCに大差をつけてのトップ通過を果たした。



なだらかな打ち上げの10番パー4。



18番グリーン奥で倶楽部代表のホールアウトを待つ選手・関係者たち。



ベストスコア賞を獲得した都留CCの庄司春美選手。

桜ヒルズゴルフクラブ

快晴に恵まれた  
2回目の予選開催



早朝、練習グリーン越しに10番ホールを望む。



桜ヒルズゴルフクラブ

支配人 清水一男氏  
令和4年5月25日(水) 関東女子倶楽部対抗競技山梨会場予選を終えて桜ヒルズゴルフクラブは、今年9月に開場36周年を迎えます。今回は平成25年に続き2回目の開催となりました。  
昨年の競技同様、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、参加倶楽部関係者6名までの人数制限。テント設置、表彰式は無くなり、コロナ前の華やかさはありませんでしたが、選手がチームのために一打集中する姿に倶楽部対抗



10番ティーショットを放つ桜ヒルズCCの志村節子選手。



倶楽部メンバーらの応援に笑顔で応える桜ヒルズCCの佐藤佳江選手。

本来の意義を感じることができ、限られた人数でも熱い応援チームのまとまりと華やかさいっぱい倶楽部対抗予選でした。  
参加選手、倶楽部関係者の皆様、KGA競技委員長はじめ委員の皆様、大会準備、競技終了までの間たいへんご苦勞様でした。桜ヒルズゴルフクラブスタッフ一同、心より感謝申し上げます。  
来年は通常開催ができるよう祈っております。

5570Y・P72  
2022年5月26日(木) ● 参加倶楽部数：15 ●  
通過倶楽部数：2 ● 競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
都丸 美佐子(初穂) 70  
上位3倶楽部  
1位 白水ゴルフ倶楽部 / 322ストローク  
2位 太田双葉カントリークラブ / 328ストローク  
3位 鳳凰ゴルフ倶楽部 / 329ストローク



決勝進出

1位

### 白水ゴルフ倶楽部

2015年まで5年連続、予選で1位になりました。以後、不本意な成績が続いていましたが、全員が「もう一度、1位に」という強い気持ちで臨み、悲願を果たすことができました。私と小池晶代さん、武藤真由美さんは、第1回大会からのメンバーです。これまで一緒に笑って、一緒に泣いてきました。今回は、うれしくて全員が涙ぐみました。

昨年、新しいメンバーが加わって2位に入り、浮上りの手ごたえを感じました。久しぶりの決勝会場で、他県の倶楽部の顔なじみから「復活、おめでとう」と声をかけられて、本当にうれしく思いました。

今年は、選手候補8人が、会場のサンコー72カントリークラブで何度も練習ラウンドを重ね、攻略法などを話し合いました。こんな私によく付いてきてくれたと、感謝しかありません。女子研修会は10人ほどしかないの、男子研修会にまじって練習させてもらっています。倶楽部と男子研修会の支援があったからこそこの1位復帰だと思っています。(小澤千恵子キャプテン・談)



決勝進出

2位

### 太田双葉カントリークラブ



スタートのテント越しに見る1番パー4。



ベストスコア賞を獲得した都丸美佐子選手(初穂CC、写真右)。



開場50周年の記念すべき年に  
良好のコンディションで開催

## サンコー72カントリークラブ 東コース

広々とした練習グリーン。



広々としたレストランはサンコー72CCの名物施設。



距離の長い9番パー4のグリーン。



多くの倶楽部メンバー・関係者が見守るなか、緊張のティーショット。



選手に付き添ってスタートティーに向かうサンコー72CCのメンバー。



サンコー72カントリークラブ

総支配人 清水勝弘氏  
1972年9月開場の当倶楽部は今年開場50周年を迎え、サンコーカントリークラブへ名称を変更致します。  
この記念すべき年に関東女子倶楽部対抗を開催出来た事、競技委員長・連盟関係者・参加倶楽部の皆様に深く感謝申し上げます。  
群馬会場は近年当日の悪天候が続いておりましたが、今年は好天にも恵まれ、コースコンディションも今までになりに上りで迎えることができました。  
各倶楽部応援団数も少し緩和され倶楽部対抗の醍醐味が戻ってきたような気がします。  
当倶楽部は昨年、9月に東コースを3コースから2コースに縮小し、コースの組み換えやバンカーの新設、ティーイングエリアの改修を行ってまいりました。従来のコースに比べ、コースレートが上がり、当倶楽部の特徴である砲台グリーンに各選手苦戦を強いられましたが、日頃の技を競い合い熱戦が繰り広げられました。  
参加15倶楽部選手の皆様数多く練習ラウンドにお越し戴き誠にありがとうございます。無事に大会が終了したことに心より御礼申し上げます。



決勝進出  
1位

鹿沼カントリー倶楽部

チームの仲間は競技への取り組む意識がしっかりしていて、選手間の競争意識が強いです。研修会も他倶楽部と変わらないと思いますが、皆さん鹿沼カントリー倶楽部の代表選手になりたい、って言って入って来てもう全員で30名以上。でもコロナ禍で、仕事や試合と毎月の研修会への参加も大変な今日この頃、だから選手選考の必須ラウンドを年間5回とハードル下げたのもいい意味で効果があったと思います。

決勝競技は、特別なアイデアは有りませんが、選手にはチーム平均スコアだけ目標にして伝えます。秘策はないですが、トップスタートの私のハーフスコアを選手で共有することかしら。それが良ければ、皆私に負けじと後半頑張るし、良くない場合も、私の分を皆がリカバーしようと奮起するいいチームですから。今からワクワクが止まりません。なんて心躍る準備期間なんでしょう、毎日楽しくて楽しくて。今から毎日4時起きで身体を慣れさせて、あとは当日のティーアップに備えるだけ。天に任せて、もちろんそんな自分にも期待しつつ、です。(角田里子プレーイングキャプテン・談)



決勝進出  
2位

皇月ゴルフ倶楽部 佐野コース



決勝進出  
3位

那須カントリークラブ

予選競技  
栃木会場

5460Y・P72  
2022年5月24日(火) ●参加倶楽部数：24 ●  
通過倶楽部数：3 ●競技方法：5名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
鈴木 郁子(鹿沼) 70  
佐藤 香織(アローエース) 70



上位3倶楽部  
1位 鹿沼カントリー倶楽部 / 317ストローク  
2位 皇月ゴルフ倶楽部 佐野コース / 325ストローク  
3位 那須カントリークラブ / 331ストローク



アテスト会場風景。3位以下は激戦。1打に笑い、1打に泣く予選競技になった。



早朝から好天、絶好のコンディションだった。



北コースの9番グリーン周りで、選手のホールアウトを見守る関係者。

栃木  
会場予選

宇都宮カンツリークラブ  
北・中コース  
絶好のコンディションのもと、  
24倶楽部が熱戦を展開



軽い打ち上げとなる10番パー4。



本競技では18番ホールとなった中コース9番パー4。



宇都宮カンツリークラブ

支配人 船越 謙氏  
競技当日は快晴、微風の絶好のコンディション。栃木県内24倶楽部の代表が熱戦を展開。大方の予想通り見事に鹿沼CCがトップ通過、2位に皇月GC佐野コース、3位に那須CCが食い込み、関東女子倶楽部対抗決勝代表権を獲得しました。  
開催にあたり亀井委員から「宇都宮CCは(競技開催に)慣れているから大丈夫」という言葉をいただきましたが、私が小職に就いてから初めてのKGA公式競技の開催。さらにコロナ禍も加わり、亀井委員のお陰でその重圧は倍増しました。  
1961年7月開場で、栃木県で7番目の長い歴史を持つコースであっても大きな大会開催に慣れているわけではありません。今大会の開催に向けて境界の明確化、ガイドパンカーの砂入れなどにとめました。  
大きなトラブルもなく無事終了できたのは、佐取委員長はじめ競技委員の皆様、KGA事務局の皆様のご指導のおかげで感謝申し上げます。  
我がチームは12位となりましたが、代表3チームの決勝大会での活躍を願っております。

茨城第1会場  
予選競技

5574Y・P72  
2022年5月23日(月) ● 参加倶楽部数：18 ●  
通過倶楽部数：2 ● 競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
木村 郁美(水戸レイクス) 74  
上位3倶楽部  
1位 桜ゴルフ倶楽部 / 330ストローク  
2位 霞台カントリークラブ / 330ストローク  
3位 セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ /  
332ストローク



決勝進出

1位 桜ゴルフ倶楽部

予選終了後は、とてもとても上位通過なんてと思って、駐車場で帰り支度していたら玄関で選手達から大きな歓声が上がって。皆さんとても仲が良く、予選が終わっても最後の選手が揃うまで待っていたんです。そうしたら一位通過だなんて。

チームの活動は、毎月の研修会の他は選手各自が自分のレベルアップのために自己投資しているくらいで、特別変わったことはしていないし、日曜日も全員集まるのが難しいくらい。皆さん平日仕事があつて。周りのためにも一打を大切にという気持ちの賜物です。倶楽部としても倶楽部対抗競技への取組みはとても強いものがあって、男女ともに一大イベントとして捉えています。だから今回の予選一位通過は会社、スタッフ、メンバー皆さんから賛辞頂いて、とても嬉しいです。

倶楽部はここ数年でコースメンテナンスがとても良く、グリーンもフェアウェイも素晴らしいコンディションになっていて、その点も今回の予選競技の結果に大きく反映していると思います、会社の取り組みにも感謝したいです。(耕田美代子キャプテン・談)



午前中には天候も回復。まぶしい青空がのぞいた。



ベストスコア賞を獲得した木村郁美選手(水戸レイクス)。



70台でラウンドしたセゴビアGCの五十嵐由香選手。



決勝進出

2位 霞台カントリークラブ



セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ

茨城  
第1会場予選

セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ

3位惜敗の結果にも  
ワンチームを実感



18番グリーン上のプレーを見守る各倶楽部の選手・関係者。



明るく広々としたレセプションホール。



1番パー5のティーイングエリア。

支配人 鶴町慎一氏  
コロナ禍により昨年に引き続き制約がある大会となりましたが、KGA競技委員、倶楽部役員、研修会員の皆様のご協力により無事に開催する事が出来ました。明け方の思わぬ降雨によりバンカーが流される状態となりましたが、早朝よりコースマンの懸命な復旧作業により大きなトラブルも無く選手の皆様を迎えることが出来ました。  
当倶楽部は奇才アデスモンド・ミューアヘッド設計の18ホールズとして1993年に開場し、三越カップレディスやチャレンジカップなどのトーナメント開催実績のあるチャンピオンコースです。各選手は巧みに配置されたハザードやグリーンアンジュレーションに翻弄された様子でホールアウト後は各チームゴルフ談義に華が咲いておりました。セゴビアとしては自コース開催というブッシュャーの中、惜しくも3位予選惜敗という結果となりましたが、ワンチームを実感できたとても良い大会となりました。  
2017年よりGRAND PGMブランドコースとして「日本のゴルフをもっと豊かに、もっと上質に。」をコンセプトに掲げ、特に接遇サービスに力を入れご来場いただくお客様に最高の時を感じて頂けるホスピタリティを提供してまいります。

茨城第2会場  
予選競技

5618Y・P72  
2022年5月30日(月) ●参加倶楽部数：17 ●  
通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
高橋 道代(栄戸ヒルズ) 78  
澤邊 真由美(富士笠間) 78  
上位3倶楽部  
1位 玉造ゴルフ倶楽部/333ストローク  
2位 扶桑カントリー倶楽部/335ストローク  
3位 栄戸ヒルズカントリークラブ/  
336ストローク



バッティングに入る阿久津浩子選手(玉造GC)。右端はベストスコア賞の高橋道代選手(栄戸ヒルズCC)。



もうひとりのベストスコア賞の澤邊真由美選手(富士笠間)。



スコアカードが手渡されるスタートテント。



玉造GCの落合教子選手。



玉造GCのベストスコアは横須賀恵子選手。

茨城  
第2会場予選

玉造ゴルフ倶楽部  
広大でアンジュレーションの  
大きなグリーンが競技を演出  
総木コース



朝の練習グリーン風景。  
グリーンを読みがスコアメイクの大きなカギ。



決勝進出  
1位

玉造ゴルフ倶楽部

今年の予選はホームコースでの開催でした。確かにグリーンは形状などはよく知っているのが有利だったと思います。ただ、2017年にここで男子予選が行われた時は男子チームが優勝しています。そのため大きなプレッシャーはありましたが、初の決勝進出を果たすことができました。1位通過の要因は、やはり練習量を増やしたことだと思います。月1度の研修会のほかに平日も練習日を設け、支配人にも加わってもらってコース攻略などを練ってきました。重圧が大きかったのは確かですが、全員の力の底上げにつながりました。関東女子グランドシニアへの出場資格を持つ選手も、日程的にきつくなることからエントリーを見送って倶楽部対抗にかけたほどです。

ここ数年は女子の競技熱も上がってきて、最初は数人しかいなかった研修会も今では17人います。せっかく決勝に歩を進めることができたのですから、思い切り楽しみたいと思っています。(藤森みどりキャプテン・談)



決勝進出  
2位

2022年  
関東女子倶楽部対抗 決勝競技

扶桑カントリー倶楽部(写真は決勝競技で撮影)



グリーンはラインの読みが難しい。



短いパットも慎重に!



快晴のもとでの1番パー5のティーショット。

支配人 杉崎三郎氏  
当倶楽部での開催は、2017年の男子第2会場予選以来5年ぶりということで、最高のコンディションで選手の皆様をお迎えしようと思気込んでいた矢先の昨夏、落雷の影響で、散水ポンプが故障するという非常事態に見舞われましたが、懸命なメンテナンス作業と多くの関係者のご尽力により、大会当日を迎えることができました。  
ベストスコア賞の「78」ストロークが示すとおり、当倶楽部の売りでもある広大でアンジュレーションのあるグリーンと、当日の強風に、各選手相当苦労されたのではないかと思います。  
最後に、KGAの競技委員の皆様、各倶楽部選手・関係者のご協力のもと、無事終了できましたことを、心より感謝申し上げます。

5394Y・P72  
2022年5月23日(月) ● 参加倶楽部数：29 ●  
通過倶楽部数：4 ● 競技方法：4名出場、4名  
の合計スコア  
ベストスコア賞  
尾崎 靖子(東松山) 72  
上位4倶楽部  
1位 東松山カントリークラブ / 322ストローク  
2位 浦和ゴルフ倶楽部 / 323ストローク  
3位 岡部チサンカントリークラブ /  
329ストローク  
4位 霞ヶ関カンツリー倶楽部 / 331ストローク



決勝進出

1位

東松山カントリークラブ

今回が初の決勝競技進出。過去最高は昨年の8位でした。転機は、個人的には昨年、私が選手出場を辞め、キャプテンに専念したことかな、と思っています。兼任では、他の選手の悩みを聞けば、そちらのことが気になって、自分のゴルフに集中できないんです。

振り返れば、私がキャプテンになる前は、当時の先輩方についていけばいいという感じで、悩むことなくプレーできていました。同じ環境をいまの選手達にも作ってあげ、伸び伸びとプレーさせてあげたいと考えたのです。いまうちは、みんな本当に仲が良く、課題があれば話し合っ解決に取り組んでいます。全員50歳以上なんですけど、チームのムードが変わって、めきめき力を伸ばした選手もおります。1位通過はまったく頭になかったです。今年は男子が予選5位だったので、それより上に行きたいねと言っていました。1位と分かったときには、信じられない思いでした。チームの成長が今後も楽しみです。(大野とよ子キャプテン・談)



決勝進出

2位

浦和ゴルフ倶楽部



決勝進出

3位

岡部チサンカントリークラブ



決勝進出

4位

霞ヶ関カンツリー倶楽部

18番グリーン奥で選手のホールアウトを迎える霞ヶ関CCのメンバー。



東コースの名物ホールのひとつ、池越えの10番パー3。



ゆったりとしたスペースを持つパッティング練習場。



スタートを見送る各倶楽部の選手・関係者。



4位通過を果たした霞ヶ関CCの選手。左から森安ひろみ、生田宏香、川森里菜の各選手。



霞ヶ関CCの鈴木順子選手のティーショット。

埼玉  
会場予選

霞ヶ関カンツリー倶楽部 東コース  
五輪使用のコースを舞台に、  
気合の入ったプレーを展開

総支配人 今泉博氏  
天候に恵まれた素晴らしいゴルフ日和の中で、来場者制限はあったものの盛大に開催されました。チーム全員のスコアが採用されるということで、各選手の緊張感はかなり大きいように感じられました。  
今回の東コースは昨年のオリンピックで使用したコースということもあり、選手の皆さんも普段より気合が入っており、大いに実力を発揮してくれたのではないかと思います。  
また、当日は選手以外にも各倶楽部の支配人など関係者が集い、社交の場としても賑やかに盛り上がりました。



選手のホールアウトを待つ、シックなたたずまいのクラブハウス。

予選競技  
千葉第1会場

5428Y・P72  
2022年5月23日(月) ●参加倶楽部数：21 ●  
通過倶楽部数：3 ●競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
勝美枝子(館山) 71  
上位3倶楽部  
1位 姉ヶ崎カントリー倶楽部 / 306ストローク  
2位 千葉カントリークラブ / 322ストローク  
3位 館山カントリークラブ / 324ストローク



芝の上からショット練習。



9番グリーンのプレー風景。



ベストスコア賞に輝く勝美枝子選手(館山CC)。



1番ティーのスタートシーン。



成田GCでは8年ぶりの倶楽部対抗競技開催。応援にも力が入る。



成田ゴルフ倶楽部

支配人 塚田 浩氏  
当倶楽部で歴史ある関東倶楽部対抗予選競技会(男子)が2014年に開催されてから、早や8年の歳月が過ぎ、今年度、2回目となる関東女子倶楽部対抗予選競技会を開催する栄誉を賜ることとなり、会員はじめ、職員一同とても誇らしく、身の引き締まる思いで大成功に向け臨むことが出来ました。  
当日は天候にも恵まれ、コロナ禍の応援人数制限下ではありましたが、華やかで力強く、そして美しいプレーが各倶楽部の選手により繰り広げられました。  
多くの方からご協力いただき、無事に大会を終了することが出来ましたこと、当倶楽部会員、職員一同より改めて感謝申し上げます。  
今回の開催経験を活かし、今後も高いレベルの競技会を最良のコースコンディションにて開催できるようコースメンテナンス、ホスピタリティの向上に努めて参ります。  
また皆様と当コースでお会いできる日を楽しみにお待ちしております。  
有難うございました。



決勝進出  
1位

姉ヶ崎カントリー倶楽部

決勝進出は2017年以来です。ここ数年は悔しい思いをしていますが、若い吉田えり選手の加入が起爆剤となって6年ぶりの1位通過を果たすことができました。今回はその吉田えり選手、全国大会クラスの吉田茜選手、徳島恭子選手の3人が70台のスコアで回りました。特にせっちな性格の徳島選手をアウトのトップスタートにし、前の組のペースに左右されないようにした作戦が功を奏したのかなとも思います。  
また、激戦区で選手の入替わりも多い千葉は、ライバルのスコアが読めません。そのため各自がそれぞれに目標スコアを定め、戦略を練って臨んだことも良かったです。

今年の姉ヶ崎CCは男子の倶楽部対抗の決勝会場でもあるため、倶楽部からは「ぜひ男女でアベック優勝を」と大きな期待も寄せられています。女子チーム8人のうち6人が50歳以上とベテラン揃いではありますが、お互いを刺激しあいながら、決勝では年に1回のお祭りを楽しみたいと思います。(佐藤みゆきキャプテン・談)



決勝進出  
2位

千葉カントリークラブ



決勝進出  
3位

館山カントリークラブ

5497Y・P72  
2022年5月24日(火) ●参加倶楽部数：20 ●  
通過倶楽部数：2 ●競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
長谷川 浩子(京) 75  
上位3倶楽部  
1位 新千葉カントリー倶楽部 / 326ストローク  
2位 カレドニアン・ゴルフクラブ /  
329ストローク  
3位 京カントリークラブ / 330ストローク



決勝進出  
1位

新千葉カントリー倶楽部

決勝進出は今回と同じ1位で通過した2018年以來となります。その時に2位だった東千葉CCさんは決勝で優勝し、それからは昨年まで3連覇。うちは逆に惜しいところまで行くのですが、本戦出場を逃してきました。

現在のメンバーのほとんどは仕事と家庭を抱えています。5年前の予選をベストスコア賞の69で回った佐藤玲(旧姓久保田)選手も、結婚してからは以前ほどゴルフに専念できなくなりましたが、それでも79で回ってきたのは「昔取った杵柄」と言うのでしょうか、さすがですね。昨年から加入した関奈緒美選手も同じ79で回り、飛び抜けた選手はいませんが全員が安定したゴルフをできるのが強みです。自由にゴルフができる環境ではなくても、限られた時間を有効に使って集中できているのではないのでしょうか。

決勝はいつものように自然体で、練習ラウンドの平均スコアなどで4人のメンバーを決めて臨もうと思っています。前回は5位だったので、3位以内を目指していきたいです。(佐瀬敏夫マネージャー談)



決勝進出  
2位

カレドニアン・ゴルフクラブ



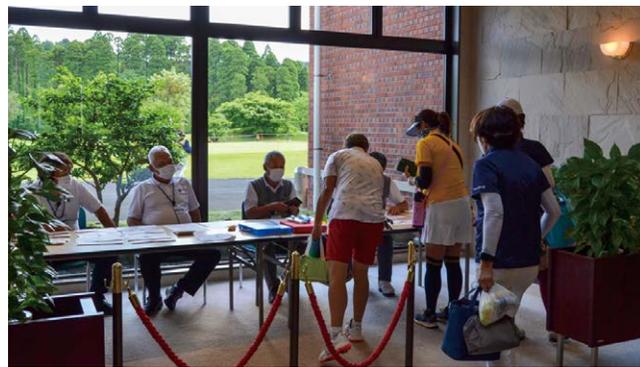
11番グリーン後方からの眺望(プロモーション画像)。



9番パー4。ティーからグリーン方向を望む(同上)。



1位になった新千葉CCのダブルエース、関奈緒美選手(左)と佐藤玲選手(右)。



2位・3位争いは1打の僅差。様々な思いが錯綜するアテテスト場。



数日前まで長雨が続けていたのが嘘のような好天。

木更津GCのエース、沓澤良子選手。



木更津ゴルフクラブ

結びにコロナ禍の終息であり、関東倶楽部対抗の益々のご発展をご祈念申し上げます。

りも、本競技を天候に恵まれ無事に終えた事を関東ゴルフ連盟の競技委員各位ならびに各出場倶楽部の選手、関係者の皆様方に感謝すると共に、ご支援ご協力を頂きまして御礼申し上げます。

総支配人 岡本政善氏  
当倶楽部では、今回2度目の関東女子倶楽部対抗の千葉予選会場としてコースを提供させていただきました。本年については、4月上旬頃より本競技開催までの期間は降雨日が多く、まるで梅雨時期のような異常気象の影響で、日照不足による芝生地の育成障害等があり、作業の遅れが生じてしまう状況下の中、大会数日前より天候は落ち着き急ピッチでコース整備に努めました。

更に前日を休場日とし、コース管理スタッフと共に他部署のスタッフの作業協力により、何とか大会を迎えました。また、本年度についてもコロナ禍において、残念ながら関係者限定の開催となりました。

木更津ゴルフクラブ  
競技前日を休場日として、  
スタッフ総出で準備

5677Y・P72  
2022年5月31日(火) ●参加倶楽部数：11 ●  
通過倶楽部数：1 ●競技方法：5名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
山口 幸子(多摩) 75  
上位3倶楽部  
1位 東京五日市カントリー倶楽部/  
330ストローク  
2位 八王子カントリークラブ/ 332ストローク  
3位 多摩カントリークラブ/ 334ストローク



早朝の打撃練習場。



小雨に煙る練習グリーン。



GMG八王子の渡邊美樹子選手の10番ティーショット。



GMG八王子の高橋永子選手のアプローチショット。



決勝進出  
1位

東京五日市カントリー倶楽部

東京は決勝進出チームが昨年までの2から1に減り、プレッシャーは大きかったです。2年連続で1位になることができたのは、何よりも倶楽部の協力が大きかったと思います。練習ラウンドの費用などを考慮してくれたほか、広報誌にも活動内容や試合のことを載せていただきました。それを見て倶楽部対抗に出場したいと思うようになったメンバーも多く、今や女子研修会は40人以上の大所帯で層は厚く、切磋琢磨しています。

今回のメンバーもそれぞれが仕事や家庭を持ち、ゴルフに費やせる時間は限られています。予選会場のGMG八王子には年明けから通って準備を重ねてきました。その中でも2年連続出場の町田百合江選手は大きく伸びた1人で、予選ではチーム唯一の70台(79)で回ってチームを引っ張ってくれました。

今回は4年連続の決勝進出ですが、目標は昨年の21位以上、いや、過去最高だった11年の14位以上を目指したいです。今年のメンバーなら、それは十分可能だと思います。(松本洋子キャプテン・談)



ベストスコア賞を獲得した山口幸子選手(多摩CC)。

GMG八王子ゴルフ場 南・東コース

コース管理課スタッフの努力で、  
良好なコースコンディションに



雨が残る早朝第1組のティーオフ風景(1番ティー)。



GMG八王子ゴルフ場

倶楽部事務局 梅田真也氏  
今年度も昨年に引き続きコロナ禍での開催のうえ、数日前からの雨予報もあり、多少の不安を感じておりました。今年の5月は雨が多く、コースメンテナンス作業が難しくなっておりますが、キーパーを始めコース管理スタッフの努力により、良好なコースコンディションに仕上がりました。また、各部署が協力して運営に携わり、私にとっては細やかな配慮が必要であることに気付かされた、そんな予選競技でした。  
選手・競技委員・各倶楽部関係者の皆様のご助力の下、無事競技を終えることができました。皆々様、誠にありがとうございました。



倶楽部の各部署が協力し、競技は円滑に運営。朝の受付(写真右)と、競技終了後のマスター室前(写真左)。



5458Y-P72  
2022年5月24日(火) ● 参加倶楽部数：20 ●  
通過倶楽部数：2 ● 競技方法：5名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
倉田 夕子(東京カントリー) 73  
塩田 美樹子(葉山国際) 73  
上位3倶楽部  
1位 秦野カントリークラブ / 314ストローク  
2位 東名厚木カントリー倶楽部 /  
319ストローク  
3位 葉山国際カントリー倶楽部 /  
322ストローク



決勝進出  
1位 秦野カントリークラブ

昨年は通過倶楽部数3で、1打差の4位。惜しくも決勝競技に行けませんでした。その悔しさを今年は……、という思いはあったのですが、通過倶楽部数が2に減りまして、ちょっと厳しいかな、と考えていました。

でも、最近は研修会に若い選手が入って来るようになり、彼女たちに刺激されてベテラン選手も奮起。お陰で選手間の実力差が余りない、チームのレベルアップを感じていました。実際、予選競技では出場した5選手全員が78~80の2打差にひしめく結果になりました。

ですから、終盤には2位以内に入れたかな、とは思ったのですが、会場の葉山国際CCは午後遅くなるほど風が強くなるということで、他の倶楽部は遅いスタートの組に強い選手を配置していたのです。うちではなかったので、最後に逆転される不安もありました。それだけに1位と分かったときにはとても嬉しかったです。この勢いで、来年も決勝に出たいですね。

(久米万希子キャプテン・談)



決勝進出  
2位 東名厚木カントリー倶楽部



大舞台に見合うタフなセッティング  
予想を上回る好スコア続出で混戦に

葉山国際カントリー倶楽部  
ダイヤモンドコース

目の前に絶景が広がる、名物4番ホール。



レストラン「ラ・メール」では、シェフこだわりの多彩な料理を提供。



コロナ禍での開催のため、拍手で選手を応援。



10番ホールはタフなティショットが求められる。



1番ホールは距離が長く、30ヤードほど打ち下ろすミドルホール。



受付は、感染対策が徹底された中で行われた。



開催倶楽部、葉山国際カントリー倶楽部の代表選手たち。



広くスペースが取られたアテスト会場。

支配人 上山吉秀氏  
舞台となったダイヤモンドコースは名匠・安田幸吉氏、小寺西二氏が手掛け、丘陵地を生かした打ち上げや打ち下ろしなどダイナミックで戦略性に富んだレイアウトが魅力です。当日は天候に恵まれ、とりわけ4番と12番ホールのティーイングエリアに立つと風光明媚な東京湾・房総半島の大パノラマが広がりました。選手の皆さんは、その景色を楽しむ余裕があったでしょうか。グリーンコンディションは9・7フィート、コンパクション22・5、晴天により徐々にグリーン表面が硬くなり高速に変化しました。当日はフェアウェイとラフの刈高にメリハリをつけ、信賞必罰のコースセッティングを目指しましたが、われわれの想像を上回る素晴らしいスコアが続出し、結果も大混戦。各倶楽部はダイヤモンドコースの特徴を綿密に調査して情報を共有して試合に臨まれるなど日頃の鍛錬の賜物であり、その努力に敬意を表します。  
コロナ禍の中での開催でしたが、皆様の協力により、無事に開催できました。関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

予選競技  
静岡会場

5367Y・P72  
2022年5月23日(月) ● 参加倶楽部数：10 ●  
通過倶楽部数：1 ● 競技方法：6名出場、上位  
4名の合計スコア  
ベストスコア賞  
人見 佳乃(太平洋・御殿場) 73  
上位3倶楽部  
1位 太平洋クラブ御殿場コース / 310ストローク  
2位 富士宮ゴルフクラブ / 324ストローク  
3位 ギャツピイゴルフクラブ / 335ストローク



ベストスコア賞を獲得した人見佳乃選手(太平洋クラブ御殿場コース)。



誤球を防ぐために、スタート前に互いの使用球を確認。



スコアカード提出風景。



富士宮GCの石原貴子選手。



富士宮GCの丁小照選手。



競技は素晴らしいコンディションのもとで開催された。  
写真は富士宮GCのキャプテン、入野己弥代選手。



決勝進出

1位

太平洋クラブ御殿場コース

昨年は決勝競技が当倶楽部の御殿場ウエストコースで開催されたため、「シード」扱いで予選は免除。予選競技は今回が初めてでした。そのうえ競技の1か月ほど前に、レギュラー選手の中から欠場者が出てメンバーチェンジがあり、また先に男子が予選を1位で通過したので、「女子も負けられない」というムードが生まれるなど、いろいろなプレッシャーや緊張感がありました。

ただ、男子はグループ各コースの予選を勝ち抜いた選手による「太平洋クラブ選手権決勝」の成績上位者から選ばれる「選手会」があり、月1回御殿場コースでラウンドしているのですが、女子もその男子の「選手会」と一緒にラウンドしています。そうした恵まれた環境にあり、もともとレベルは高いと思います。

それと、女子選手は皆さん普段からとても仲が良いことも、強さの理由かも知れません。決勝競技は、昨年の4位の上を目指して、頑張ってもらいたい。可能性は十分にあると思います。(古川潔キャプテン・談)



富士宮GCの篠木貴子選手のティーショット。

支配人 細江 齋氏  
当日は天候にも恵まれ、無事に開催する事ができました。  
選手の皆様が日頃の練習成果を充分発揮できるよう、また素晴らしい思い出として残るようスタッフ一同、準備をさせて頂きました。  
当倶楽部は開場60周年を迎える節目の年となりました。  
名峰富士を仰ぎながらのプレー、中村寅吉設計の戦略性に富んだコースをお楽しみ頂けたのではないかと思います。  
コロナ禍での開催にあたり、関東ゴルフ連盟の皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。

静岡  
会場予選

富士宮ゴルフクラブ  
開場60周年を迎える節目の年  
スタッフ一同で準備、運営



富士宮ゴルフクラブ

INFORMATION

2022年 KGA杯ジュニアゴルフ大会

本年度、第7回を迎えたKGA杯ジュニアゴルフ大会は、関東高等学校ゴルフ連盟との共催で、「女子の部」を8月18日(木)に富里ゴルフ倶楽部、「男子の部」を8月19日(金)にカレドニアン・ゴルフクラブでそれぞれ開催。男女合わせて239名がエントリー、218名が出場しました。

18ホール・ストロークプレーの結果、「男女15歳～17歳の部」上位各5名と「男女12歳～14歳の部」上位各3名に、2023年の関東アマチュアゴルフ選手権予選競技、もしくは関東女子ゴルフ選手権予選競技の出場資格が、それぞれ付与されました。



猛暑にも食欲は負けず。



「男子の部」会場のカレドニアンGC。

競技成績

男子 カレドニアン・ゴルフクラブ  
(6,710ヤード バー72)



15歳～17歳の部  
(エントリー64名 出場60名)

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	常盤 和也	私立作新学院高1	69
2	飯塚 結成	私立千葉黎明高2	71
3	松谷 崇嗣	私立埼玉栄高1	72
4	出口 千加志	私立水戸啓明高1	72
5	大久保 麻波浪	私立日本ウエルネス高1	73

12歳～14歳の部  
(エントリー54名 出場50名)

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	山崎 暖真	板橋区立志村第一中1	69
2	竹田 亮太	千葉市立おゆみ野南中2	71
3	金澤 和夢	私立佐久長聖中2	73

女子 富里ゴルフ倶楽部  
(6,362ヤード バー72)



15歳～17歳の部  
(エントリー56名 出場46名)

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	西山 知里	私立代々木高2	69
2	佐藤 甘菜	私立共立女子第二高2	73
3	西脇 真帆	新潟県立長岡大手高1	76
4	篠原 優葉	私立拓殖大学紅陵高1	76
5	永谷 優	私立日大第一高3	76

12歳～14歳の部  
(エントリー65名 出場62名)

ランク	名前	学校名・学年	スコア
1	窪田 沙羅	私立駿台甲府中2	73
2	五月女 愛来	栃木市立東陽中2	75
3	荻原 すいみ	私立本庄第一中1	76

「TEAM KGA ジュニア」出身 馬場咲希  
全米女子アマチュアゴルフ選手権優勝

「TEAM KGA ジュニア」出身の馬場咲希(日本ウエルネス高等学校・2年)が、8月8日から14日にかけてアメリカ・ワシントン州のチャンパーズベイゴルフコースで開催された全米女子アマチュアゴルフ選手権に出場し、見事優勝を果たしました。

馬場は、本年度関東女子ゴルフ選手権と関東ジュニアゴルフ選手権(女子の部)も制覇。8月1日付でJGAナショナルチームメンバーに追加招集され、日本代表としてフランスで開催されたエスピリットサントトロフィー世界女子アマチュアゴルフチーム選手権に出場いたしました。

今後、さらなる活躍が期待されます。



写真提供:USGA

編集後記

佐藤徹明氏が関東ゴルフ連盟の新理事長に就任された。関東ゴルフ連盟前理事長の池谷正成氏は日本ゴルフ協会の会長に就任、日本のゴルフ界に新たな体制が誕生した。本号で取り上げた関東倶楽部対抗競技でも、新しい風が吹いた。姉ヶ崎カントリー倶楽部チームが常勝チームに取って代わる大活躍。そして、新たな顔ぶれが上位を占めた。今後の関東倶楽部対抗競技、多くの倶楽部が新たな盟主の座を目

指して活発に活動されるものと楽しみに思う。ゴルフはコロナ禍でも楽しめるスポーツとして、日本中から新たな注目を浴びている。そのコロナ禍も終わろうとする今、新理事長には、国民に期待されるゴルフ界の新たな姿に向け、強力なリーダーシップを取って頂けるものと期待を申し上げたい。

(吉田裕明広報委員長)

倶楽部対抗にみる、  
ゴルフ本来の楽しさ

ゴルフの起源は、スコットランドの牧童が海辺で羊を追いながら杖で小石を打ち、ウサギの掘った穴に入れて遊んだことだと一般的に言われている。

これには諸説あり、9～11世紀に猛威を振ったバイキング(海賊)がスコットランドに上陸した際に、狭い船上でなまっただ体を鍛えるために考え出したと主張する人もいる。いずれにせよ、スコットランドが発祥の地であることは間違いないようだ。

ただ、ここで疑問が湧き起こる。スコットランドは内陸に少し進めば美しい牧草地帯もあるのに、古からあるゴルフ場の多くはなぜ砂丘

がうねって強風が吹きさすび、ヒースやエニシダの群草にボールが埋もれてしまうリンクスであるのかということだ。

推測の域は出ないが、私はゴルフが地形や気象などの神(自然)が与えた試練を受け入れ、人間の叡智でそれらを克服するという、極めて壮大な思想で始まったからではないかと思っている。バイキングが起源なら、彼らにとつて風向きや波のうねりを頭に入れて船を操舵する技術に長けた船員は重宝され、尊敬の念を集めたはずだ。それを陸上に置き換えたのがゴルフだったのではないか。そんな想像を膨らませてしまつたのだ。

ボールが強風で大きく曲がったり、目の前に高い壁が立ちだかる砂丘の穴に入っても、彼らは自然に対して不平不満をこぼすことはない。

その状況を受け入れてベストを尽くすことこそが、本来の楽しみだったのではなからうか。



の大きな悩みは、男女とも20～40代の選手の練習がままならないことだ。仕事や育児に追われる年代は、コロナ禍でテレワークが増えたといつても、平日中心の練習ラウンドは有休をやりくりするしかない。家族の理解も必要で、あらゆる障壁が立ちただかつている。

それでも選手たちはチームメイトやバックアップを惜しまない倶楽部の期待に応えようと、自分を取り巻く社会的な環境を受け入れて創意工夫を重ね、試合に挑んでいる。これもまたゴルフの原点であり、ゴルフアーツとしての成長を促すアマチュアリズムの根源ともいえる。だからこそ倶楽部対抗には独特の緊張感が漂い、ゴルフ本来の楽しさを垣間見ることができる。そう思うのである。

(鈴木遍理・広報委員)



**姉ヶ崎カントリー倶楽部**  
〒299-0121  
千葉県市原市立野165-1  
TEL : 0436-66-4511



**青梅ゴルフ倶楽部**  
〒198-0004  
東京都青梅市根ヶ布1-490  
TEL : 0428-22-0261

# KGAGOLFER'S NEWS

2022年9月30日発行

KGAGOLFER'S NEWS No.138

発行所／一般社団法人 関東ゴルフ連盟

〒104-0061 東京都中央区銀座8丁目18番11号

銀座SCビル4階

TEL 03-6278-0005 FAX 03-6278-0008

ホームページ <http://www.kga.gr.jp>

発行人／佐藤敏明 編集／広報委員会

